取扱説明書

デジタルカメラ
品番 DSC-S5

Xacti

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。5～16ページの「デジタルカメラを安全に正しくお使いいただくために」は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

基本操作のご紹介

準備から撮影、再生までの基本操作の流れをご紹介します。早く操作に慣れて、デジタルカメラをお楽しみください。

準備

1 電池を装着する [P21]

＜カードを使う場合は＞

・本機はSDメモリーカードがなくても、カメラの内蔵メモリー（16MB）に画像を保存することができます。また、内蔵メモリーとSDメモリーカードに保存された画像を、互いにコピーすること[P71]ができます。

2 SDメモリーカード*1を装着する[P22]

3 SDメモリーカードを初期化する[P90]

[注意]

・SDメモリーカードは、必ず本機で初期化してからご使用ください。本機で初期化していないカードを使用すると、動作に支障をきたすことがあります。

撮影

1 撮影する

→静止画で撮影する [P29・30]
→連写で撮影する [P29・32]
→動画クリップで撮影する*2 [P30・33]

再生

1 再生する [P56]

[注意]

・このカメラは、テレビに接続して画像を再生することはできません。

＊1：SDメモリーカードについて

本機は、SDメモリーカード以外にマルチメディアカードも使えます。この説明書では、SDメモリーカードの使用を例に説明します。また、SDメモリーカードおよびマルチメディアカードを総称して「カード」と呼びます。

＊2：動画クリップについて

本機は、音声の記録/再生機能を搭載しておりません。したがって、記録した動画クリップには音声が入っていません。また、音声付きの動画クリップを再生しても、音声は再生しません。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

ヒント	もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項
参考	本機の機能や用語についての予備知識
便利	便利な使いかたの説明
注意!	特に注意していただきたい事項
[P]	参照ページ

操作中に疑問に感じたり故障かな?と思った時は、「よくある質問[P144]」と「困った状態になったとき[P150]」をご参照ください。

もくじ

■ カメラの環境設定

■ 他の機器との接続

■ SANYO Software Pack

■ 付録

デジタルカメラを安全に正しくお使いいただくために

安全のため必ずお守りください

■警告表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	意味
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。**
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性があります。

■図記号の例

△ の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は、注意することを意味します。）

分解禁止

⃠ の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⃠ の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は、分解禁止を意味します。）

電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。

●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

⚠警告

■煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに電源を切り、電池を取りはずす

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
  すぐに電源を切り、電池を取りはずし、煙が出なくなるのを確認してから､お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
  お客さまによる修理は危険ですから､絶対におやめください。

■キャビネットをはずしたり、改造しない

- 内部には高電圧回路があり、手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。

■運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどを運転しながらの撮影や再生､液晶モニターを見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは急ブレーキなど、カメラが落下してブレーキ操作の妨げにならないように、十分にご注意ください。

■撮影時は周囲の状況に注意をする

- 周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。
  事故やけがなどの原因となります。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。
- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しないでください。事故の原因となることがあります。

⚠警告

■カメラをぬらさない

- このカメラは防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源を切り、速やかに電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■雷が鳴り出したら使わない

- 落雷を避けるため、雷が鳴り出したら使用しないでください。特に広い野原などでの撮影や携帯は、落雷により感電するおそれがあります。速やかに落雷を回避できる場所へ避難してください。

■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一カメラを落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■太陽を見ない

- 太陽や強い光に向けて撮影しないでください。目に傷害を起こす原因となります。

■フラッシュを目に近づけて発光させない

- カメラを人の目（特に乳幼児）に近づけて撮影しないでください。
  目の近くでフラッシュを発光させると、視力障害を起こす原因となります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

⚠警告

■爆発の危険があるところでは使わない

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■カメラを幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない

- 次のような思わぬ事故の原因となります。
  - ・誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - ・電池や小さな部品を飲み込む。
    万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - ・目の前でフラッシュが発光し、視力障害を引き起こす。
  - ・カメラでけがをする。

⚠注意

■持ち運びの注意

- ハンドストラップに手を通したまま、カメラを固定しないで持ち運ぶと、カメラに衝撃を与えたり、他のものに当たったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れるなど固定してください。
- カメラを落としたりぶつけたり、大きな衝撃を与えないようにご注意ください。
- レンズを直射日光に当てないでください。カメラ内部を傷めることがあります。撮影しないときは、電源を切り、レンズを収納してください。

■長期間使用しない場合の注意

- 安全のため電池を取りはずしてください。電池の発熱や液漏れなどにより、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。（長時間電池を取りはずしたままで放置すると、時刻・日付の設定をクリアします。）

⚠注意

■操作や保管場所の注意

- 本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での操作や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・温度および湿度変化の激しい場所
  - ・水にぬれやすい場所
  - ・冷暖房器具や加湿器に近い場所
  - ・自動車の中
  - ・ほこりやちりの多い場所
  - ・火気のある場所
  - ・揮発性物質のある場所
  - ・振動のある場所

使用環境：	●温度	0℃～40℃（動作時）
		−20℃～60℃（保管時）
	●湿度	30%～90%（動作時、非結露）
		10%～90%（保管時、非結露）

⚠警告

■電池の注意

アルカリ乾電池の注意事項

- 電池の液もれ、発熱、破裂、発火、事故の原因となりますので、以下のことをお守りください。
  - ・電池の極性（プラスとマイナス）を間違わないように使う
  - ・充電しない
  - ・火中に投入したり、加熱しない
  - ・プラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
  - ・変形させたり、分解、改造しない
  - ・はんだづけしない
  - ・電池を水や海水につけたり、端子部分をぬらさない
  - ・外装チューブをはがしたり、傷をつけない
  - ・液漏れしたり、変色、変形、その他異常状態に気づいた時は、使用しない
  - ・幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない
    万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
  - ・電池を落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない

電池の一般注意事項

- **本機には、アルカリ乾電池または指定の電池を使用してください。マンガン乾電池は電池の寿命が短いばかりではなく、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因となることがありますので、使用できません。**
- アルカリ乾電池とニカド電池など、種類やメーカーの異なる電池を混ぜての使用は、絶対に避けてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使ったり、消耗した電池を混ぜて使うことは避けてください。
- カメラに入れる時には、極性（プラス（⊕）とマイナス（⊖））に注意し、表示どおり入れてください。
- 種類の違う電池を混ぜたり、新しい電池と古い電池を混ぜたり、さらに消耗した電池を混ぜて使うと、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、指定の電池をお買い求めください。外装チューブがついていないなどの粗悪な電池を使用すると、火災、けが、やけどの原因となります。

⚠警告

電池の一般注意事項 (つづき)

- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取りはずしは、カメラの電源を切って電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 万一電池の液が手や衣服に付着した時は、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った時は、失明のおそれがあります。こすらずに、きれいな水で洗い流し、すぐ医師の治療を受けてください。
- 電池を落としたり、ぶつけたりしないでください。
- カメラを長期間使用しない場合は、電池を取りはずし、涼しい場所で保管してください（長時間電池を取りはずしたままで放置すると、日付・時刻の設定をクリアします）。
- 電池を捨てる時は、地域の条例に従って処分してください。
- リチウム電池（CR-V3）以外の電池は、10℃以下で使用すると、電池の使用時間が著しく短くなります。
- 充電池をご使用の場合は、専用の充電器で完全に充電した後、ご使用ください。ご使用になる電池および充電器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠注意

■ACアダプター使用時のご注意

- このデジタルカメラにACアダプターをご使用になる際は、別売の専用ACアダプター（DSA-34A）を使用してください。
- 他のACアダプターを使用すると、カメラ本体が故障したり、火災や感電など思わぬ事故が起きる可能性があります。
- 常時ACアダプターでご使用になるときは、電池を取りはずしてください。電池の発熱や液漏れなどにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。
- 安全に正しくお使いいただくために、専用ACアダプター（DSA-34A）に付属の取扱説明書を必ずお読みください。

■カードのご注意

- 使用直後のカードは高温になることがあります。
  カードの取り出しはカメラの電源を切り、温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 幼児やお子様の手の届くところに放置しないでください。誤って口に入れるなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■大切な撮影は事前に確認を

- 大切な撮影をされる場合は、正常に撮影ができることを確認してください。
- 本機や別売の機器、ソフトウェアなどを使用中、万一これらの不具合により撮影や記録できなかった場合、撮影内容の補償や、撮影・記録できなかったことによる損失の補償については、ご容赦ください。

■著作権法について

- あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的であっても撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■お手入れとご注意

お手入れのしかた

1. **電源を切って、電池を取りはずす**
2. **柔らかい布で汚れを軽くふき取る**

汚れがひどいときは…

3. **水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる**

ご注意

- お手入れの際、ベンジン･シンナーは使用しないでください。
  変質したり、塗料がはげることがあります。
  また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- デジタルカメラに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間、接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■電池と端子部について

- **電池（⊕極と⊖極）とデジタルカメラの電池カバーの電池端子部（接点）は、時々、乾いた布などで汚れをふき取ってください。**
電池やデジタルカメラの電池端子部を直接手で触れると､汚れが付着して酸化し、接触抵抗値の増加が発生することがあります。接触抵抗値が増加すると、電池の使用可能時間が短くなる原因となります。

■レンズのお手入れとご注意

- レンズが汚れたら、市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。

■長期間使用しないときは

- 電池を取りはずしてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電池を入れて作動させてください。
- カメラの機構上、電源を切っても微少電流が流れています。電池を長時間カメラに入れたままにすると、放電状態になり、場合によっては使えなくなることがありますのでご注意ください。

■露つき（結露）のご注意

- デジタルカメラに露つきが起きた状態で使用すると、故障する場合があります。

露つきとは…

- よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。
これと同じように、カメラ内部にも水滴がつくことがあります。
このような状態を露つき（結露）といいます。

露つきが起こりそうなときは…

- デジタルカメラをポリ袋などに入れて密封し、周囲の温度になじませてから使用してください。

このようなときは、露つきにご注意

- 寒い所から急に暖かい部屋に持ち込んだとき
- 部屋を急激に暖房するなど、急に周りの温度が変わるとき
- エアコンなどの冷風が、直接当たる所に置いたとき
- 湿気の多い所に置いたとき

正しくご使用いただくために必ずお守りください（つづき）

■不要電波の放射にご注意

- デジタルカメラをテレビやラジオの近くでご使用になると、受信障害が起きることがあります。不要電波の放射を軽減するために、付属のケーブルに付いているコアを取りはずさないでください。

専用USB接続ケーブル

■データ保存について

- 大切なデータは別のメディア（ハードディスク・MOディスク・CD-Rなど）へコピーされることをおすすめします。
- 下記などの場合、記録したデータが消失（破壊）することがあります。データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ・カードの使用方法を誤ったとき
  - ・カードが正しく機器に装着されなかったとき
  - ・カードが電気的・機械的なショックや力を受けたとき
  - ・内蔵メモリーまたはカードへのアクセス中に、カードを装着したり取り出したり、機器の電源を切ったとき
  - ・カードが寿命になったとき

■カードの取り扱い上のご注意

- カードは精密部品です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 極端に高温や低温な場所、直射日光の当たる場所、しめきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管はさけてください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところでのご使用・保管は避けてください。
- カードの端子部に、ごみや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったとき等に力が加わり、壊れることがあります。
- 他の機器で使用していたり、未使用のカードは、必ず本機で初期化（フォーマット）をしてからご使用ください。「カード･内蔵メモリーを初期化しよう[P90]」
- 市販品をご使用になる場合は、カードに付属の取扱説明書をよくお読みください。

付属品を確認しよう

●ハンドストラップ

●CD-ROM
（SANYO Software Pack）：1枚

●単3形アルカリ乾電池：2本
（メーカー組込専用電池）

●専用USB接続ケーブル：1本

●簡単操作ガイド

付属品の使いかた

ハンドストラップの使いかた

別売品のご紹介

- **ACアダプター（品番：DSA-34A）**
  本機に接続できる専用のACアダプターです。

- **リチウム電池（品番：CR-V3）**
  アルカリ乾電池にくらべて長寿命なリチウム電池（CR-V3）です。

- **ニッケル水素電池（品番：HR-3UF-2BP）**
  単3形ニッケル水素電池2本パックです。

- **急速充電器（品番：NC-MR57）**
  単3形/単4形、ニッケル水素電池/ニカド電池対応のリフレッシュ機能付き充電器です。

- **カメラケース（品番：KA-VCP-9）**
  カードポケット付きの黒色の革ケースです（ネックストラップ付き）。

- **SDメモリーカード（品番：KA-HPC-SD128）**
  メモリー容量128MBのSDメモリーカードです。

本機で使えるカードについて

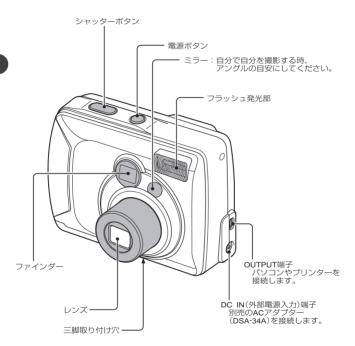
本機に装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

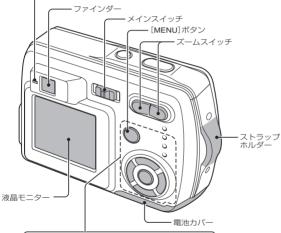
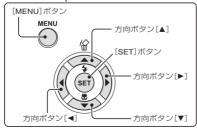
- **SDメモリーカード**
- **マルチメディアカード**

カードの表記について

- 本書では、本機で使用できるSDメモリーカードやマルチメディアカードを「カード」と表記します。
- 本書で掲載しているカードのイラストはSDメモリーカードですが、装着・取りはずし・初期化などは、マルチメディアカードの場合でも同じ操作でできます。

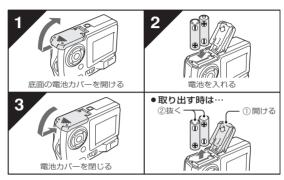
各部の名前を知りましょう

前　面

後　面

アクセスランプ：赤色のLEDです。
点灯：撮影可能・液晶モニター消灯時の撮影中［P83］・USB接続中［P100・103］
点滅（約1秒間隔）：起動中/フラッシュ充電中（撮影不可）・マニュアルフォーカス設定中［P53］・露出補正［P55］/デジタルズーム使用中［P36］（撮影可能）・電池消耗時・画像記録中
遅い点滅（約2秒間隔）：パワーセーブ中［P24］・メモリーフル（撮影不可）
早い点滅（約0.5秒間隔）：カード未フォーマット［P90］/カードロック状態（撮影不可）・セルフタイマーカウント中［P37］

電池とカードをセットしよう

電池をセットする

電池の極性（プラス⊕、マイナス⊖）に注意して入れてください。

注意!

マンガン乾電池は使わない

- マンガン乾電池は電池の寿命が短いばかりではなく、電池の発熱などにより本機の故障の原因になることがあります。

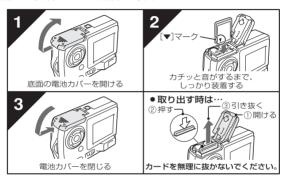
他の電池を使うには

- アルカリ乾電池（LR6）以外の電池を使う場合は、以下の電池をおすすめします。
  - ・単3形ニッケル水素電池（当社製HR-3UF：2本）
  - ・単3形ニカド電池（当社製N-3UV：2本）
  - ・リチウム電池（CR-V3：1個）
    電池を入れる向きに注意してください。

電源が入っているときは、電池カバーを開けない

- 電源が入っているときは、電池カバーを開けないでください。データが壊れることがあります。それらの操作による損害について当社は、一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

カードをセットする

カードは、本機で初期化（フォーマット）[P90]してからご使用ください。
カードの向きを間違えないように十分注意してください。向きを間違えて装着すると、故障の原因となります。

カードがなくても撮影できます

● カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しないと内蔵メモリー（16MB）で撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、液晶モニターに内蔵メモリーアイコン が出ます。

内蔵バックアップ用電池について

● 本機は、日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しないときは電池を取りはずす

● 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、本機を長期間使用しないときは電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付・時刻などの設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

電源を入れよう/切ろう

電源の入れかた

撮影する時

1 メインスイッチを [ ] または[ ]に合わせる

[ ]:静止画または連写撮影をする
[ ]:動画クリップ撮影をする

メインスイッチ
PC
アクセスランプ
電源ボタン
液晶モニター

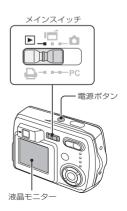
2 電源ボタンを押す

- 電源が入り、液晶モニターに画像が出て、ファインダーの横のアクセスランプが点灯します。

再生する時

1 メインスイッチを [ ] に合わせる

2 電源ボタンを押す

- 電源が入り、液晶モニターに画像が出ます。

電源の切りかた

1 **電源ボタンを押す**

- 電源が切れます。
- 液晶モニターとアクセスランプが消灯します。
- レンズが出ている場合は、レンズを自動的に収納します。

パワーセーブ状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置（撮影時：約1分間、再生時：約5分間（工場出荷時の設定））すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下の操作をすると電源が入ります。
  電源ボタンを押す
  シャッターボタンを押す
  [MENU]ボタンを押す
  [SET]ボタンを押す
- パワーセーブ状態になって15分以上経過すると、完全に電源が切れた状態になります。
- 別売のACアダプター（DSA-34A）を接続している場合、電源を入れてから約10分後にパワーセーブ機能が働きます（工場出荷時の設定）。
- パワーセーブ状態になるまでの時間は、変更することができます[P92]。
- 専用USB接続ケーブルでカメラとパソコンまたはプリンタを接続している時は、パワーセーブ状態にならず、約12時間後に電源が切れます。

撮影の前に(上手に撮影するために)

日付・時刻を記録する

カメラの日付・時刻を設定すると、撮影した写真に日時を記録することができます[P85]。
撮影データの整理のために、撮影の前には日付・時刻を設定することをおすすめします。
日付・時刻を設定していない場合は、液晶モニターに時計警告アイコン⊙?が出ます。

カメラの構えかた

右手と左手でカメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

良い例

悪い例

指がレンズにかかっている

レンズやフラッシュ発光部に、指やストラップがかからないように注意してください。

ヒント

- 静止画撮影モードや連写撮影モードで撮影した画像は、再生時に回転することができます[P65]。ただし動画クリップは回転することはできません。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

オートフォーカス（自動ピント合わせ）機能について

本機のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジ [P52] を設定して撮影してください。

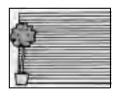
■ オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

  撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロック[P30]した後、構図を決めて撮影してください。

- **縦線のない被写体**

  撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

■ オートフォーカスの苦手な被写体（つづき）

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わないときがあります。

- **遠いものと近いものが共存する被写体**
  撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。（液晶モニターでピントを確認してください。）

- **動きの速い被写体**
  撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

撮影のヒント

電池の消耗をおさえたい

- 液晶モニターを消灯して撮影すると、電池の消耗をおさえることができます[P83]。

撮影した画像の保存先は？

- カードを装着しているとカードに、カードを装着していない場合は内蔵メモリーに保存します。

逆光で撮影すると…

- 逆光で撮影した時は、CCD の特性上、光の筋（スミア）やゴースト模様（フレア現象）が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

撮影データの記録中は…

- アクセスランプが点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。点灯すれば撮影できます。

直前に撮影した画像の確認 （プレビュー） ができます

- 撮影後、[SET] ボタンを押すと、撮影した画像をプレビュー表示でき、方向ボタンの [◀] または [▶] で前後の画像が再生できます。動画クリップの場合は [SET] ボタンを押すと再生が始まり、方向ボタンの[▲]を押すと一時停止をします。また、一時停止中に方向ボタンの [◀] または [▶] を押すと、コマ送り再生ができます。動画クリップの再生が終わった状態で、方向ボタンの[◀]または[▶]を押すと、前に撮影した動画クリップの先頭に移動することができます。
  撮影に失敗した場合は、この画面が出ている時に[▲]ボタンを押すと、表示中の画像を消去することができます。
  プレビュー表示は、方向ボタンの[▼]を押すと、撮影モードに戻ります。

撮影をしよう

撮影モードを設定する

静止画または連写撮影モードにする

静止画撮影設定画面

1 **メインスイッチを［ ］に合わせ、電源を入れる** **[P23]**

- 液晶モニターに画像が出ます。画像が出ない場合は 83 ページを参照し、液晶モニターを使う設定にしてください。

2 **[MENU]ボタンを押す**

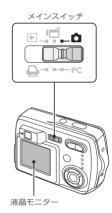
- 静止画撮影設定画面が出ます。

3 **方向ボタンの [▲] または [▼]を押して、 動作モードメニューを選ぶ**

［ ］:静止画撮影をする（静止画撮影モード）

［ ］:連写撮影をする（連写撮影モード）

4 **方向ボタンの [◀] または [▶] を押して目的のアイコンを選び、 [SET]ボタンを押す**

- [MENU]ボタンを押すと、静止画撮影設定画面が消えます。

動画クリップ撮影モードにする

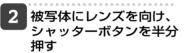
1 メインスイッチを[ ]に合わせ、電源を入れる

- 液晶モニターに画像が出ます。画面が出ない場合は83ページを参照し、液晶モニターを使う設定にしてください。

静止画撮影をする

1 静止画撮影モードにする [P29]

2 被写体にレンズを向け、シャッターボタンを半分押す

（半分押す）

- 液晶モニターにターゲットマーク またはピントアイコン が出ます（フォーカスロック）。
- 撮影設定画面 [P40] が出ていた場合は、撮影設定画面が消えます。

3 シャッターボタンを押し込む

- シャッターが切れます。

（さらに押す）

参考

ピントアイコンとターゲットマークについて

- ターゲットマークは、現在ピントを合わせている部分に出ます。ターゲットマークが目的でない部分に出た場合は、撮影角度を変えるなどして、ピントを合わせなおしてください。
- 以下の条件では、ターゲットマークは出ません。
  ピントが合っていない
  セルフタイマー撮影時[P37]
  フォーカスレンジ[MF][▲▲]設定時[P52]
  シーンセレクト[ ][ ]設定時[P45]
- 画面中央の広い範囲にピントが合った時は、大きなターゲットマークが出ます。

手ぶれ警告アイコンが出たら？

- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、液晶モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このようなときは、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P34]に設定してください。
- シーンセレクト機能の花火モード[ ]撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

連写撮影をする

1 連写撮影モードにする[P29]

2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを押している間、撮影をします。
- 撮影中は、液晶モニターにREC表示が出ます。

3 撮影を終了する

- シャッターボタンを離すと撮影を終わります。

最大連写枚数について

最大連写枚数は、解像度や圧縮率の設定によって異なります。

解像度設定	10M		5M		2M		WEB	
圧縮率設定	FINE	NORM	FINE	NORM	FINE	NORM	FINE	NORM
最大連写枚数	撮影不可		3枚	4枚	4枚		4枚	

参考

連写撮影時のピント合わせについて

- 連写撮影では、オートフォーカス機能はシャッターボタンを半分押したときに働き、ピントを固定して撮影をします。

動画クリップ撮影をする（音声なし）

動画クリップで撮影することができます。
※映像のみを録画し、音声は録音しません。

1 動画クリップ撮影モードにする[P30]

2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影中は、液晶モニターに REC 表示が出ます。
- 撮影可能時間が少なくなると、残りの撮影可能時間が出ます。

3 撮影を終了する

- シャッターボタンを押すと、撮影を終わります。

参考

- 動画クリップは、データ量が多くなります。撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります（カメラの液晶モニターでは、正常に再生できます）。
- 1回あたりの撮影可能時間は、お使いのカードにより異なります。また撮影可能時間[P157]以内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

その他の撮影機能

フラッシュ撮影をする

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっているときや逆光の場合などでも役に立ちます。本機のフラッシュには、4つの動作モード（自動発光モード・強制発光モード・発光禁止モード・赤目軽減モード）がありますので、状況に応じて使い分けてください。フラッシュを使って撮影できるのは、静止画撮影モードだけです。

1 静止画撮影モードにする [P29]

- 現在のフラッシュ動作モードアイコンが、液晶モニターに出ます。

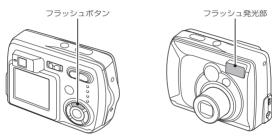
表示なし：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します（自動発光）。

[強制発光アイコン]：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影するときに使います（強制発光）。

[発光禁止アイコン]：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影するときなどに使います（発光禁止）。

[赤目軽減アイコン]：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが予備発光した後に正式発光します。このとき、人物の目が赤く写る現象（赤目現象）を軽減します。

2 フラッシュボタン[⚡](方向ボタンの[▲])を押して、フラッシュ動作モードを設定する

- フラッシュボタンを押すごとに、フラッシュ動作モードアイコンが変わります。
- 希望するフラッシュ動作モードのアイコンを出してください。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 設定したフラッシュ動作モードで撮影します。

〈液晶モニターを使わない撮影の場合は〉

❶フラッシュボタンを押す

・液晶モニターに、現在のフラッシュ動作モードが出ます。

❷5秒以内にフラッシュボタンを押して、フラッシュ動作モードを設定する

便利

自動発光のときは

- 液晶モニターを使った自動発光モードの撮影でフラッシュが必要な場合は、シャッターボタンを半分押した時に⚡Aアイコンが液晶モニターの左上に出て、フラッシュの発光をお知らせします。

ズーム撮影をする

ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。

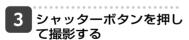
1 被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチの [T] または[W]を押して、 構図を決める

[T]:望遠画面になります。

[W]:広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、液晶モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチの [T] を押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します(デジタルズームが可能な場合)。

3 シャッターボタンを押して撮影する

参 考

- 液晶モニターを使わない撮影では、デジタルズームは使えません。
- ワイド端では、ズームのリセット動作を行いますが、異常ではありません。

その他の撮影機能(つづき)

セルフタイマー撮影をする

静止画撮影モードと連写撮影モードでは、セルフタイマー撮影が行えます。

1 静止画または連写撮影モードにし[P29]、[MENU]ボタンを押す

● 撮影設定画面が出ます。

2 方向ボタンの [▲] または [▼] を押してセルフタイマーメニューを選ぶ

[セルフタイマー切]：セルフタイマーを使いません（セルフタイマー切）。

[2]：セルフタイマーを使います。シャッターボタンを押してから約2秒後に、シャッターが切れます。

[10]：セルフタイマーを使います。シャッターボタンを押してから約10秒後に、シャッターが切れます。

例：静止画撮影設定画面

3 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- セルフタイマーの設定ができました。

4 シャッターボタンを押して撮影する

便 利

⏲10を選んだ場合は

- シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが約7秒点滅した後、約2秒速く点滅し、1秒点灯してシャッターが切れるタイミングをお知らせします。

その他の撮影機能(つづき)

参 考

● セルフタイマーを使うときは、三脚などに本機を固定してください。

ピント合わせについて

● セルフタイマー撮影では、シャッターが切れる寸前にオートフォーカスが働いて、ピントを合わせます。

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

● セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度シャッターボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、シャッターボタンを押します。
● セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマー切アイコンを選び、[SET]ボタンを押してください。
● セルフタイマーの設定は、撮影が終わると自動的にセルフタイマー切の設定になります。

撮影設定を変えるには

撮影の設定は、撮影設定画面の各メニューを選んで変更することができます。

撮影設定画面を出す

1 メインスイッチを［ 📷 ］または［ 🎥 ］に合せ、電源を入れる[P23]

［ 📷 ］:静止画/連写撮影モードになります。

［ 🎥 ］:動画クリップ撮影モードになります。

2 [MENU]ボタンを押す

［ 📷 ］に合せた場合：
静止画 / 連写撮影設定画面が出ます[P41]。

［ 🎥 ］に合せた場合：
動画クリップ撮影設定画面が出ます[P43]。

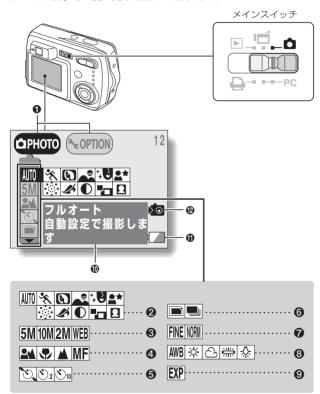
静止画/連写撮影設定画面

動画クリップ撮影設定画面

撮影設定画面を消す

● [MENU] ボタンを押してください。

静止画/連写撮影設定画面

※すべての表示を一度に見ることはできません。

❶ **撮影/設定切り替えメニュー [P81]**
- 撮影画面とオプション画面を切り替えます。

❷ **シーンセレクトメニュー [P45]**
AUTO：フルオートで撮影します。
［スポーツ］：スポーツモードで撮影します。
［ポートレート］：ポートレートモードで撮影します。
［風景］：風景モードで撮影します。
［コスメ］：コスメモードで撮影します。
［夜景］：夜景モードで撮影します。
［花火］：花火モードで撮影します。
［セピア］：セピアモードで撮影します。
［モノクロ］：モノクロモードで撮影します。
［合成］：合成モードで撮影します。
［証明写真］：証明写真モードで撮影します。

❸ **解像度メニュー [P50]**
5M：2592×1944ピクセル（500万画素）で撮影します。
10M：3680×2760ピクセル（1000万画素）で撮影します。
2M：1600×1200ピクセル（200万画素）で撮影します。
WEB：640×480ピクセル（30万画素）で撮影します。

❹ **フォーカスメニュー [P52]**
［AF］：オートフォーカスで撮影します。
［マクロ］：スーパーマクロ撮影をします。
［遠景］：遠景撮影をします。
MF：マニュアルフォーカスで撮影します。

❺ **セルフタイマーメニュー [P37]**
［オフ］：セルフタイマーを使いません。
［2秒］：シャッターボタンを押すと、2秒後に撮影をします。
［10秒］：シャッターボタンを押すと、10秒後に撮影をします。

❻ **動作モードメニュー [P29]**
［単写］：シャッターボタンを押すと、静止画像を1枚撮影します（静止画撮影モード）。
［連写］：シャッターボタンを押すと、連写撮影をします（連写撮影モード）。

❼ **圧縮率メニュー [P51]**
FINE：低圧縮で撮影します。
NORM：標準圧縮で撮影します。

❽ **ホワイトバランスメニュー [P54]**
AWB：撮影現場の照明や天候をカメラが自動的に判断し、自動的にホワイトバランスを設定します。
［晴天］：晴天時の設定です。
［曇天］：曇天時の設定です。
［蛍光灯］：蛍光灯による照明時の設定です。
［白熱灯］：白熱灯による照明時の設定です。

❾ **露出補正アイコン[P55]**
明るさを変えて撮影します。

❿ **ヘルプ表示[P88]**

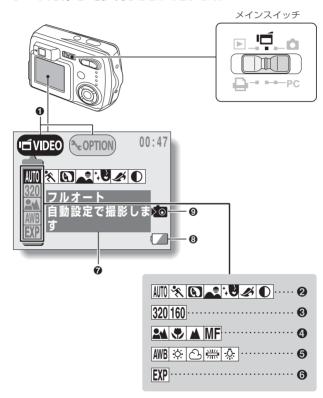
⓫ **電池残量表示[P98]**

⓬ **内蔵メモリーアイコン[P22]**

※同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

撮影設定を変えるには(つづき)

動画クリップ撮影設定画面

※すべての表示を一度に見ることはできません。

❶ 撮影/設定切り替えメニュー [P81]
- 撮影画面とオプション画面を切り替えます。

❷ シーンセレクトメニュー [P45]
AUTO：フルオートで撮影します。
[スポーツ]：スポーツモードで撮影します。
[ポートレート]：ポートレートモードで撮影します。
[風景]：風景モードで撮影します。
[コスメ]：コスメモードで撮影します。
[セピア]：セピアモードで撮影します。
[モノクロ]：モノクロモードで撮影します。

❸ 解像度メニュー [P50]
320：320×240ピクセルで撮影します。
160：160×120ピクセルで撮影します。

❹ フォーカスメニュー [P52]
[AF]：オートフォーカスで撮影します。
[マクロ]：スーパーマクロ撮影をします。
[遠景]：遠景撮影をします。
MF：マニュアルフォーカスで撮影します。

❺ ホワイトバランスメニュー [P54]
AWB：撮影現場の照明や天候をカメラが自動的に判断し、自動的にホワイトバランスを設定します。
[晴天]：晴天時の設定です。
[曇天]：曇天時の設定です。
[蛍光灯]：蛍光灯による照明時の設定です。
[白熱灯]：白熱灯による照明時の設定です。

❻ 露出補正アイコン[P55]
明るさを変えて撮影します。

❼ ヘルプ表示[P88]

❽ 電池残量表示[P98]

❾ 内蔵メモリーアイコン[P22]

※同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

撮影設定を変えるには(つづき)

シーンセレクト機能を使う

撮影条件に応じたさまざまな設定（絞りやシャッタースピードまたは特殊効果など）を登録済みの設定の中から選ぶことができます。

撮影モード			設定の特徴
静止画	連写	動画クリップ	
フルオートAUTO			カメラが最適な状態に設定をします。
スポーツ			動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます。
ポートレート			背景をぼかして人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます。
風景			遠くの風景がきれいに撮影できます。
夜景	―	―	バックの夜景を活かしながら人物が撮影できます。
コスメ			人物を撮影する時、お肌をきれいに撮影できます。
花火	―	―	打ち上げ花火を撮影します。
セピア			色調をセピア調にした撮影ができます。
モノクロ			モノクロ撮影ができます。
合成	―	―	4種類の中からフレームを選んで、合成写真を撮影します。
証明写真	―	―	証明用の写真を撮影します。撮影した写真は、L判1枚に約40×30mmと約30×24mmの写真を各3枚プリントすることができます。

1 撮影設定画面を出し[P40]、シーンセレクトメニューを選ぶ

例：静止画撮影モード

2 目的のアイコンを選び、［SET］ボタンを押す

● シーンセレクト機能を設定します。

AUTO：フルオート	：スポーツ	：ポートレート
：風景	：夜景	：コスメ
：花火	：セピア	：モノクロ
：合成	：証明写真	

参考

通常の撮影に戻すには

● シーンセレクトメニューのAUTOを選び、[SET]ボタンを押してください。

撮影設定を変えるには(つづき)

シーンセレクト機能使用時のご注意

シーンセレクト設定時は、以下の点にご注意ください。

設定	注意点
スポーツ	フォーカスレンジの設定は、マニュアルフォーカス[MF]で設定可能です。
ポートレート	
風景	
コスメ	
夜景	手ぶれを防ぐため、三脚などでカメラを固定してください。
花火	手ぶれを防ぐため、三脚などでカメラを固定してください。 フラッシュは使えません。 フォーカス設定は遠景[▲]に固定です。
合成	解像度[10M][5M]には設定できません。 セルフタイマーは使えません。 フォーカスレンジの設定は、マニュアルフォーカス[MF]で設定可能です。 デジタルズームが使えません。
証明写真	解像度[10M]には設定できません。 フォーカスレンジの設定は、マニュアルフォーカス[MF]で設定可能です。 デジタルズームが使えません。

参考

液晶モニターを使わない撮影の時は…

- デジタルズームは使えません。

合成撮影をする

1 シーンセレクトメニューの合成アイコン を選び、[SET]ボタンを押す

2 再度[SET]ボタンを押す

- 合成パターンが出ます。

3 方向ボタンの [◀] または [▶]を押して、 目的の合成パターンを選び、[SET]ボタンを押す

- 選んだ合成パターンが、画面一杯に出ます。

4 外側を撮影する

- 被写体にレンズを向け、合成パターンの外側を撮影します。

5 内側を撮影する

- 続いて、合成パターンの内側を撮影します。

証明写真撮影をする

1 シーンセレクトメニューの証明写真アイコン [証明写真アイコン] を選び、[SET]ボタンを押す

2 [MENU]ボタンを押す

- 撮影フレームが出ます。

3 撮影フレームに人物が入るようにアングルを調整し、 撮影する

- 撮影画像のプレビュー表示が出た後、撮影画面に戻ります。
- 再生画面には、２種類のサイズの画像が、各３枚出ます。

再生画面

画質を設定する

解像度を設定する

解像度は、数値が大きいほどきめ細かく美しい撮影が可能です。しかし、データサイズが大きくなるため、撮影可能枚数や撮影可能時間が少なくなります。撮影画像の目的に応じた解像度に設定してください。

1 撮影設定画面を出し[P40]、解像度メニューを選ぶ

例：静止画撮影モード

2 目的の解像度アイコンを選び、[SET]ボタンを押す

<静止画/連写撮影モード>

10M：1000万画素（3680×2760ピクセル）で撮影します（静止画撮影モードのみ）。

5M：500万画素（2592×1944ピクセル）で撮影します。

2M：200万画素（1600×1200ピクセル）で撮影します。

WEB：30万画素（640×480ピクセル）で撮影します。

<動画クリップ撮影モード>

320：320×240ピクセルで撮影します。

160：160×120ピクセルで撮影します。

解像度10Mでの撮影について

- 解像度10Mでは、デジタルズームが使えません。
- 解像度10Mの画像は撮影した画像をカメラで内部処理して、3680×2760ピクセルの画像を生成します。

撮影設定を変えるには(つづき)

圧縮率を設定する（静止画/連写のみ）

撮影画像データの圧縮率が設定できます。圧縮率の設定を変えると、同じ解像度で撮影しても、データ量を小さくして撮影枚数を多くしたり、画質を優先した撮影ができます。

1 撮影設定画面を出し[P40]、圧縮率メニューを選ぶ

2 目的の圧縮率アイコンを選び、 [SET]ボタンを押す

FINE：低圧縮で保存します。

NORM：標準圧縮で保存します。

参考

解像度と圧縮率について

- デジタルカメラの写真は小さな点の集まりでできています。解像度とは、この点の数のことで、数が多いほど写真は鮮明になります。解像度が高いとデータ量が増え、撮影枚数や撮影時間が少なくなるため、デジタルカメラではデータを圧縮して記録する方法が一般的です。本機ではJPEG方式のデータ圧縮を採用しています。JPEG方式で圧縮したデータは、再生した時にわずかですが、再現できない部分が出てきます。また、圧縮率が高いほど再現できない部分が増えます。このため本機では、画質を最優先した撮影用として、圧縮率を極力抑えた方法を備えています。これがFINEです。ただし、NORM に対して FINE はデータ量が多いため、NORM にくらべてシャッターボタンを押してから撮影データを記録したり再生を開始するまでに時間がかかります。

フォーカスレンジ（焦点距離）を設定する

焦点距離を設定することができます。またスーパーマクロでは、被写体に最短2cmまで近づいて撮影できます。

1 撮影設定画面を出し[P40]、フォーカスメニューを選ぶ

- 50cm～∞mの範囲で、自動的にピントを合わせます。
- 2cm（Wide端）または50cm（Tele端）～50cmの範囲で、ピントを合わせることができます（スーパーマクロ）。
- 遠景でピントを合わせることができます。
- MF：焦点距離を2cmから8mの間で設定でき、∞に設定することもできます（マニュアルフォーカス）。

2 目的のフォーカスアイコンを選び、［SET］ボタンを押す

便利

- 液晶モニターが消えていたり、撮影設定画面が出ていない状態でフォーカスボタン[ ]（方向ボタンの[▼]）を押しても、フォーカスレンジを設定することができます。

■マニュアルフォーカスの使いかた

1 フォーカスメニューのマニュアルフォーカスアイコン MF を選び、[SET]ボタンを押す

2 [SET]ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

3 方向ボタンの [◀] または [▶] を押して焦点距離を設定し、[SET]ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

参考

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。ピント合せの確認は、液晶モニターに映る画像でお確かめください。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を30cm以下に設定すると、ズーム位置は自動的にワイド端になります。
- 焦点距離を30cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

ホワイトバランスを設定する

本機は、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 撮影設定画面を出し[P40]、ホワイトバランスメニューを選ぶ

2 目的のホワイトバランスアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判断し、自動的にホワイトバランスを調整します。オート撮影モードの設定です（オ ートホワイトバランス）。

☼：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍光灯アイコン：蛍光灯による照明時の設定です。

電球アイコン：白熱灯による照明時の設定です。

ホワイトバランスの設定を解除するには

- 操作2で、AWBアイコンを選んで[SET]ボタンを押します。

撮影設定を変えるには(つづき)

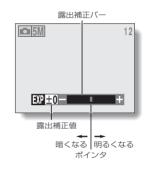
露出を補正する

明るさを変えて、撮影することができます。

1 撮影設定画面[P40]を消す

- 撮影設定画面は、[MENU] ボタンを押すと消えます。

2 方向ボタンの [◀] または [▶]を押す

- 露出補正バーが出ます。
- この状態で [◀] または [▶] を押すと、露出が補正できます。

- 以下の操作をすると、露出補正の設定を解除します。

  ポインタを中央にする
  撮影モードを切り替える
  再生モードにする
  電源を切る
- 露出補正値は、露出補正バーの左側に出ます。露出は－1.8EV～＋1.8EVの範囲で補正することができます。
- 露出補正が働いているときは、アクセスランプが点滅します。
- 撮影設定画面の露出補正アイコン EXP を選んでも、露出補正は行えます。

参 考

液晶モニターを使わない撮影の時は…
- 露出補正は行えません。

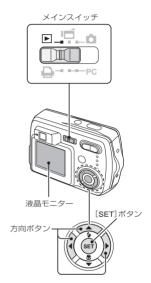
再生しよう

1 メインスイッチを[▶]に合わせ、電源を入れる [P23]

- 最後に撮影した画像が液晶モニターに出ます。

2 再生する画像を選択する

1つ前の画像を表示する：方向ボタンの[◀]を押します。
1つ後の画像を表示する：方向ボタンの[▶]を押します。

- 目的の画像を表示してください。

3 動画クリップを再生する

通常再生する

- [SET]ボタンを押します。
- 再生中に[◀]を押すと、逆方向で再生します。

一時停止する

- 動画クリップ再生中に[▲]ボタンを押します。[SET]ボタンを押すと、再生を再開します。

コマ送りで見る

- **順方向に送る**…一時停止の後、[▶]を押します。
- **逆方向に送る**…一時停止の後、[◀]を押します。

倍速再生する

- **2倍速再生する**…通常再生中に、[▶]を押します。
- **20倍速再生する**…2倍速再生中に、[▶]を押します。
  ※[◀]を押すと、逆方向で再生します。
- **通常の再生にする**…再生中に、[SET]ボタンを押します。

注意!

- 音声は再生できません。
- 内蔵メモリー内の画像を再生する場合は、カードを取りはずしてください。

便 利

- 画像を表示している時にシャッターボタンを押すと、画像番号を表示することができます。画像番号の表示は、再度シャッターボタンを押すと消えます。

動画クリップをパソコンで見るには

- 本機で撮影した動画クリップは、Apple社のQuickTime 3以降を使用して、パソコンで再生することができます。
- QuickTimeに含まれるQuickTime Plug-inを使用すれば、動画クリップをインターネットブラウザで再生することも可能です。
- Macintosh版およびWindows版のQuickTime 6.5は、付属のCD-ROM（SANYO Software Pack）に同梱しています。
- 日本語版QuickTimeに関する情報は、下記のホームページでも入手できます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/

再生しよう(つづき)

データがたくさんある場合（9画面マルチ再生）

1 メインスイッチを[▶]に合わせ、電源を入れる[P23]

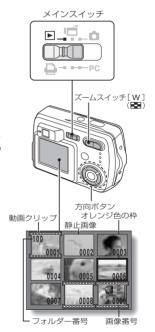
2 ズームスイッチの[W]（[▦]）を押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- 方向ボタンを押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押してください。
  [SET]ボタンの代わりに、ズームスイッチの[T]（[🔍]）を押しても、再生できます。

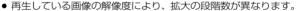
再生

再生しよう

拡大（ズーム）表示をする

1 画像を表示する[P56·57]

- 動画クリップの場合は、拡大表示する位置で、一時停止してください。

2 ズームスイッチの[T]（[ ]）を押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- 方向ボタンを押すと、表示部分が移動できます。
  拡大する：ズームスイッチの[T]（[ ]）を押す
  元に戻す：ズームスイッチの[W]（[ ]）を押す

- 再生している画像の解像度により、拡大の段階数が異なります。
- 最大拡大率は、解像度10Mで約58倍です。
- 回転していた画像は、元の画像に戻して拡大表示します。
- 動画クリップでは、一時停止中の1コマ（静止画）を拡大して見ることができます。拡大した状態で動画クリップ再生はできません。

便 利

拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時にシャッターボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

再生設定画面を出すには

撮影した画像に対する操作は、再生設定画面の各メニューを選んで行います。

再生設定画面を出す

1 メインスイッチを[▶]に合せ、電源を入れる[P23]

- 最後に撮影した画像が液晶モニターに出ます。

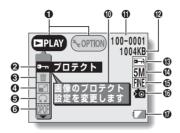
2 [MENU]ボタンを押す

- 再生設定画面が出ます。

再生設定画面を消す

- [MENU] ボタンを押してください。

再生設定画面

※すべての表示を一度に見ることはできません。

❶再生/設定切り替えメニュー [P81]
- 再生画面とオプション画面を切り替えます。

❷データの消去禁止（プロテクト）
❸データの消去
❹リサイズ
❺画像の回転
❻プリントの設定
❼画像データのコピー
- カード装着時のみ表示します。

❽静止画抜き出し
❾スライドショーの設定と再生
❿ヘルプ表示
⓫画像番号
⓬データのサイズ
⓭プロテクトマーク
⓮解像度表示
⓯圧縮率表示
⓰内蔵メモリーアイコン
⓱電池残量表示

※❼～❾のアイコンは、方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます。

画像のサイズを変えよう(リサイズ)

WEB 以上の解像度で撮影した静止画像のサイズを640×480ピクセルまたは320×240ピクセルに変えて、新しく静止画像を作ることができます。

1 サイズを変える静止画像を表示する

2 再生設定画面を出す[P61]

3 リサイズアイコン[ ]を選び、[SET]ボタンを押す

● リサイズ画面が出ます。

4 方向ボタンの [▲] または [▼]を押して、 変更後の画像サイズを選ぶ

640：640 × 480 ピクセルにします。

320：320 × 240 ピクセルにします。

EXIT：再生設定画面に戻ります。

5 [SET]ボタンを押す

- サイズ変更の確認画面が出ます。

6 [はい]を選び、 [SET]ボタンを押す

- サイズ変更を開始します。
- サイズ変更が終わると、再生設定画面に戻ります。

画像を回転表示しよう

撮影した画像を回転して見ることができます。

1 静止画像を表示する

2 再生設定画面を出す [P61]

3 画像回転アイコン [画像回転] を選び、[SET]ボタンを押す

- 画像回転画面が出ます。
  - [右回転]:時計方向に90°回転します。
  - [左回転]:反時計方向に90°回転します。
  - EXIT:再生設定画面に戻ります。

4 右回転アイコン [右回転] または左回転アイコン [左回転] を選び、[SET]ボタンを押す

- [SET]ボタンを押すごとに、画像が90°ずつ回転します。

スライドショー再生をしよう

1 静止画を再生する場合は静止画、動画クリップを再生する場合は動画クリップを表示し、再生設定画面を出す[P61]

2 スライドショーアイコン[アイコン]を選び、 [SET]ボタンを押す

- スライドショー画面が出ます。
  [静止画]：静止画をスライドショー再生します。
  [動画]：動画クリップをスライドショー再生します。
  [MIX]：静止画と動画クリップをスライドショー再生します。
  [戻る]：再生設定画面に戻ります。

＜[静止画]または[MIX]を選んだ場合＞
❶ [切替時間]または[切替効果]表示を選び、[SET]ボタンを押す
❷方向ボタンの[▲]または[▼]を押し、設定を選ぶ
❸ [SET]ボタンを押す

3 [スタート]を選び、[SET]ボタンを押す

- 再生中に[SET]ボタン、[MENU]ボタンまたは方向ボタンのいずれかを押すと、スライドショー再生を中止します。

その他の再生機能

プロテクトを設定する（消去禁止）

記録済みの大切なデータを誤って消したり編集しないために、プロテクト（消去禁止）をかけることができます。

1 プロテクトをかけるデータを表示し、再生設定画面を出す[P61]

2 プロテクトアイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- [プロテクト？]表示が出ます。
- プロテクトがかかっているデータの場合は、[プロテクト解除？]表示が出ます。

3 [はい]を選んで、[SET]ボタンを押す

- データにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマーク が付きます。

- プロテクトをかけたデータでも、カードを初期化すると消えます。

ヒント

操作2・3で他の画像を選ぶには

- 方向ボタンの[◀]または[▶]を押します。

プロテクトを解除するには

- プロテクトを解除したいデータを表示し、操作1～3を行うと、プロテクトマークが消え、プロテクトを解除します。

データを消去する

データの消去方法には、データを1つずつ消去する方法と、すべてのファイルを一括して消去する方法があります。

1 消去するデータを表示する

2 再生設定画面を出す[P61]

3 消去アイコン[消去]を選び、[SET]ボタンを押す

- 消去画面が出ます。

静止画像消去の場合

[1枚消去]：
表示中の静止画像を消去します。

[全ファイル消去]：
すべての画像を消去します。

動画クリップ消去の場合

[1クリップ消去]：表示中の動画クリップを消去します。

[全ファイル消去]：すべての画像を消去します。

- [戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

4 方向ボタンの [▲] または [▼]を押して、 消去方法を選び、 [SET]ボタンを押す

- 消去確認画面が出ます。
  [はい]：消去します。
  [戻る]：消去を中止し、消去画面に戻ります。

例：1枚消去の確認画面

5 方向ボタンの[▲]を押して、 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- [消去中]表示が出て、次の画像を表示します。データの消去ができました。
- 続けて他のデータを消去する場合は、[戻る]を選んで方向ボタンの[◀]または[▶]を押し、消去するデータを表示して操作5を行ってください。

操作4で他の画像を選ぶには

- [1枚消去]を選択した場合は、[戻る]を選んで方向ボタンの[◀]または[▶]を押すと、消去するデータを変更できます。

便 利

表示中の画像をすばやく消去するには

①消去する画像を表示する
②方向ボタンの[▲]（[🗑]）を押す
・消去確認画面が出ます。
③[はい]を選び、[SET]ボタンを押す
・表示中の画像を消去します。

その他の再生機能(つづき)

データをコピーする

撮影した画像をカメラの内蔵メモリーからカードへ、カードから内蔵メモリーへとコピーすることができます。

1 カメラにカードをセットする[P22]

2 再生設定画面を出す[P61]

3 画像コピーアイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- 画像コピー画面が出ます。
- 方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、コピー元を選んでください。

[内蔵メモリー ▶カード]：
内蔵メモリーの画像データをカードへコピーします。
[内蔵メモリー ◀カード]：
カードの画像データを内蔵メモリーへコピーします。

※カードを装着していないと、画像コピーアイコンを選択することができません。

4 [SET]ボタンを押す

- 表示中の画像データだけをコピーするか、コピー元のカードまたは内蔵メモリーのすべての画像データをコピーするかを選ぶ画面が出ます。方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、いずれかを選んでください。

5 [SET]ボタンを押す

- コピーの確認画面が出ます。
  コピーを実行する場合は[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。
- 続けて他の画像データをコピーする場合は、方向ボタンの [◀] または [▶] を押し、コピーする画像を表示して [SET] ボタンを押してください。
- [戻る] を選んで [SET] ボタンを押すか [MENU] ボタンを押すと、画像コピー画面に戻ります。

その他の再生機能(つづき)

動画クリップから静止画像を抜き出す

動画クリップ撮影した画像の1コマを、1枚の静止画として保存することができます（元の画像はそのまま残ります）。

1 動画クリップを再生し、静止画にする 1 コマを表示する[P56･57]

2 再生設定画面を出す [P61]

3 静止画抜き出しアイコン を選び、 [SET]ボタンを押す

- 静止画抜き出し画面が出ます。
  [はい]： 表示中の画像を静止画として保存します。
  [戻る]： 静止画抜き出しを中止し、再生設定画面に戻ります。

4 [はい]を選び、 [SET]ボタンを押す

- 静止画抜き出しを実行します。
- [戻る]を選んで[SET]ボタンを押すか、[MENU]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

操作3で他の画像（コマ）を選ぶには

- 方向ボタンの[◀]または[▶]を押します。

プリント（DPOF）設定をする

静止画像は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。また本機はDPOF規格を採用しており、プリントする枚数の指定や日付けプリントの有無の指定、さらにインデックスプリントを指定することもできます。

プリント設定画面を出す

1 再生設定画面を出す
[P61]

2 プリント設定アイコンDPOFを選び、［SET］ボタンを押す

- プリント設定画面が出ます。
  [すべての画像]：
  カード内のすべての画像にプリントの設定を行います。
  [1枚ごと]：
  画像 1 枚ごとにプリントの設定を行います。
  [インデックス]：
  すべての静止画像を小さな画像で一覧表示用としてプリントします。
  [全指定取消し]：
  プリント指定の内容をすべて取り消します。プリントを指定していない場合は選べません。
  [戻る]：
  再生設定画面に戻ります。

その他の再生機能(つづき)

ヒント

- 動画クリップの画像をプリンタで印刷したりプリントサービスに出す場合は、静止画像として画像を抜き出してから[P73]プリントの設定をしてください。

参 考

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を設定することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント設定をすると、予約画像印刷[P109]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

- 画像回転した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

日付・印刷枚数を設定する

1画像ごとに個別に設定する方法（1枚ごと）と、画像すべてに同じ設定をする方法（すべての画像）があります。

1 プリント設定画面を出す [P74]

2 [1枚ごと]または[すべての画像]を選ぶ

DPOF プリント設定
すべての画像
1枚ごと
インデックス
全指定取消し
戻る

[すべての画像]：
すべての静止画像に、同じプリント設定をします。

[1枚ごと]：
表示している画像にプリント設定をします。

3 [SET]ボタンを押す

- 日付・プリント枚数設定画面が出ます。
- [1枚ごと]を選んだ場合は方向ボタンの [◀] または [▶] を押して、プリント設定をする画像を表示してください。
- [現在設定]には、表示中の画像のプリント設定が出ます。方向ボタンの [◀] または [▶] を押すと、各画像のプリント設定が確認できます。

その他の再生機能(つづき)

4 日付プリントまたはプリント枚数を設定する

〈日付プリントを設定する〉

❶方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、[日付]を選ぶ

❷ [SET]ボタンを押す

・日付プリント設定画面が出ます。

❸方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、日付プリントを設定する

[あり]：日付プリントします。
[なし]：日付プリントしません。

❹ [SET]ボタンを押す

・日付·プリント枚数設定画面に戻ります。

〈プリント枚数を設定する〉

❶方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、[枚数]を選ぶ

❷ [SET]ボタンを押す

・プリント枚数設定画面が出ます。

❸方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、プリント枚数を設定する

・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]または[▼]を押してください。

❹ [SET]ボタンを押す

・日付·プリント枚数設定画面に戻ります。

5 [印刷設定する]を選び、[SET]ボタンを押す

- プリントの設定確認画面が出ます。
  設定内容が正しい場合：
  [戻る]を選んで[SET]ボタンを押す
  設定を変更した場合：
  [設定変更する]を選んで[SET]ボタンを押す

インデックスプリントをする

一覧表示用として、小さな画像をたくさんプリントすることを「インデックスプリント」といいます。撮影した画像の一覧を作成する場合に便利です。

1 プリント設定画面を出す[P74]

2 [インデックス]を選ぶ

3 [SET]ボタンを押す

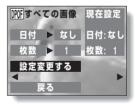
- インデックスプリント画面が出ます。
  [はい]：インデックスプリント設定をします。
  [戻る]：設定を中止して、プリント設定画面に戻ります。

4 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- インデックスプリントの設定をし、プリント設定画面に戻ります。

プリント設定を変更する

1 76・77ページの操作 1 ～ 4 をする

2 [設定変更する]を選び、[SET]ボタンを押す

すべての画像のプリント設定を取り消す

画像のプリント設定をすべて取り消します。

1 プリント設定画面を出す [P74]

2 [全指定取消し]を選ぶ

3 [SET]ボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[はい]:すべての画像のプリント設定を取り消します。
[戻る]:プリント設定の取り消しを中止して、プリント設定画面に戻ります。

4 [はい]を選び、 [SET]ボタンを押す

- すべての画像のプリント設定を取り消して、プリント設定画面に戻ります。

カメラの設定を変えるには

カメラの設定は、オプション画面の各メニューを選んで変更することができます。

オプション画面を出す

1 設定するモードにメインスイッチを合せる

撮影オプション画面を出す場合：
[📷][🎥]に合せます。

再生オプション画面を出す場合：
[▶]に合せます。

2 [MENU]ボタンを押す

3 方向ボタンの [▲] または [▼] を押して撮影 / 設定切り替えメニュー [P42·44·62]を選ぶ

4 方向ボタンの [▶] を押して、OPTION アイコンを選ぶ

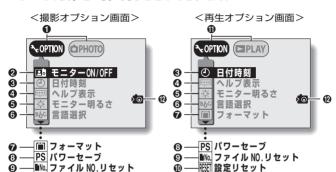
[📷][🎥]に合せた場合：
撮影オプション画面が出ます[P82]。

[▶]に合せた場合：
再生オプション画面が出ます[P82]。

オプション画面を消す

- [MENU]ボタンを押してください。

オプション画面

※すべての表示を一度に見ることはできません。

❶撮影/設定の切り替えメニュー
❷モニター ON/OFFの設定
❸日付・時刻の設定
❹ヘルプ表示の設定
❺モニターの明るさの設定
❻言語の設定
❼カードの初期化（フォーマット）
❽パワーセーブの設定
❾ファイルNo.リセットの設定
❿カメラ設定のリセット
⓫再生/設定切り替えメニュー
⓬内蔵メモリーアイコン

※撮影オプション画面の❼〜❿、再生オプション画面の❽〜❿のアイコンは、方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます。

液晶モニターを設定しよう

ON/OFFを設定する

液晶モニターを消灯して撮影すると、電池の消耗を抑えることができます。

1 撮影オプション画面を出す[P81]

2 モニター ON/OFFアイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- モニターON/OFF画面が出ます。
  [ON]：液晶モニターを点灯します。
  [OFF]：液晶モニターを消灯します。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- [OFF] を選んだ場合は、液晶モニターが消灯します。
- 液晶モニターを点灯するには、[MENU] ボタンを押して液晶モニターを点灯し、操作 2・3を行って、液晶モニターを[ON]に設定してください。

液晶モニターの明るさを設定する

1 オプション画面を出す
[P81]

2 モニターの明るさアイコン[☼]を選び、[SET]ボタンを押す

- モニターの明るさ画面が出ます。

3 方向ボタンの [◀] または [▶]を押す

- [◀]を押すと暗く、[▶]を押すと明るくなります。

4 [SET]ボタンを押す

- オプション画面に戻ります。

参 考

- 液晶モニターを消灯する設定にしている場合、液晶モニターの明るさは設定できません。

日付・時刻を設定しよう

本機は撮影時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2005年7月23日午後7時30分に合わせる場合

1 オプション画面を出す [P81]

2 日付時刻アイコン [⏲] を選び、[SET]ボタンを押す

- 日付時刻画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- オプション画面に戻るときは、[MENU]ボタンを押すか、[戻る]を選び[SET]ボタンを押します。

3 日付を設定する

❶方向ボタンを押して、[日付]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。
❸方向ボタンを押して、日付を「2005年7月23日」に合わせる
・「年」設定→[▶]→「月」設定→[▶]→「日」設定の順に合わせます。
・[▲]ボタンを押す：数字が増えます。
・[▼]ボタンを押す：数字が減ります。
❹[SET]ボタンを押す

4 時計を設定する

❶方向ボタンを押して、[時刻]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。
❸方向ボタンを押して、時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→[▶]→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。
❹[SET]ボタンを押す

日付・時刻を設定しよう(つづき)

5 再生時の日付表示順序を設定する

❶ 方向ボタンを押して、[表示]を選ぶ

❷ [SET]ボタンを押す

・ 日付表示順序を設定する画面が出ます。

❸ [▲]または[▼]を押す

- 方向ボタンの[▲]を押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

  →年/月/日→月/日/年→日/月/年→表示なし→

  [▼]ボタンを押すと、逆に切り替わります。
- 「表示なし」を選ぶと、再生時、撮影日表示が出ません。

❹ [SET]ボタンを押す

6 [戻る]を選んで、[SET]ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わり、オプション画面に戻ります。

参考

- 本機は電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、時刻・日付の設定をクリアする場合があります。(バックアップ時間は最長で約7日間)電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします(操作1・2)。
  また、バックアップができていなかったり時計を合せていない時は、時計警告アイコン◷?が出ます。

日付・時刻を修正するには

- 操作1・2の後、修正したい行を方向ボタンの[▼]を押して選びます。修正したい表示を[▶]を押して選び、[▲]または[▼]を押して表示を修正してください。

ヘルプ表示を設定しよう

撮影または再生設定画面にヘルプ表示を出したり出さないように、設定することができます。

1 オプション画面を出す [P81]

2 ヘルプ表示アイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- ヘルプ表示設定画面が出ます。
  [ON] ：ヘルプ表示を出します。
  [OFF]：ヘルプ表示を出しません。

3 ヘルプ表示の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- オプション画面に戻ります。

言語を設定しよう

本機の液晶モニターの表示は、さまざまな言語に設定できます。

1 オプション画面を出す [P81]

2 言語選択アイコン abc を選び、[SET]ボタンを押す

- 言語選択画面が出ます。
  [日本語]：日本語にします。
  [DEUTSCH]：ドイツ語にします。
  [ENGLISH]：英語にします。
  [ESPAÑOL]：スペイン語にします。
  [FRANCAIS]：フランス語にします。
  [ITALIANO]：イタリア語にします。
  [NEDERLANDS]：オランダ語にします。
  [PУCCKИЙ]：ロシア語にします。

abc言語選択

日本語	FRANCAIS
DEUTSCH	ITALIANO
ENGLISH	NEDERLANDS
ESPAÑOL	PУCCKИЙ

3 言語を選び、[SET]ボタンを押す

- オプション画面に戻ります。

カード・内蔵メモリーを初期化しよう

・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカード
は、必ず本機で初期化（フォーマット）してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 カードを初期化する場合はカードをセット、内蔵メモリーを初期化する場合はカードを取りはずす

2 オプション画面を出す[P81]

3 フォーマットアイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- フォーマットの方法を選ぶ画面が出ます。
- 普段の使用で、完全フォーマットをする必要はありません。しかし、通常のフォーマットをしてもカードに関するエラーが出る場合は、完全フォーマットを行ってください。

[フォーマット]：
通常のフォーマットを行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います（カードをセットしていなかったり、電池残量が少ない場合は、選択できません）。

カード装着時

カード未装着時

4 フォーマットの方法を選び、[SET]ボタンを押す

5 [はい]を選ぶ

6 [SET]ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中 電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、本機の電源を切ったり、カードを入れたり取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- 初期化すると、記録したデータは、すべて消えます。プロテクトしたデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

フォーマットをしてもデータが復元できる?

- フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。一方、完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもデータの復元ができなくなります。カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、完全フォーマットを実行することをおすすめします。

初期化を中止するには

- 操作5で[いいえ]を選び、[SET]ボタンを押してください。

パワーセーブ機能を設定しよう

本機には、本機を使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に省電力状態になるパワーセーブ機能があります。パワーセーブ状態になるまでの時間（待機時間）を設定することができます。

1 オプション画面を出す [P81]

2 パワーセーブアイコン PS を選び、 [SET]ボタンを押す

- パワーセーブ画面が出ます。

[電池/撮影]：電池を使った撮影モードでの待機時間を設定します。

[電池/再生]：電池を使った再生モードでの待機時間を設定します。

[AC/撮影・再生]：AC アダプター接続時の撮影 / 再生モードでの待機時間を設定します。

[戻る]：オプション画面に戻ります。

パワーセーブ機能を設定しよう(つづき)

3 方向ボタンの [▲] または [▼]を押し、 設定する項目を選ぶ

4 [SET]ボタンを押す

- 待機時間の設定画面が出ます。

PS パワーセーブ
▲
電池/撮影 ▶ 1 分
▼

5 方向ボタンの [▲] または [▼]を押し、 待機時間を設定する

[▲]：待機時間が増えます。

[▼]：待機時間が減ります。

6 [SET]ボタンを押す

- 待機時間を設定し、パワーセーブ画面に戻ります。

ファイルナンバーリセット機能を設定しよう

初期化したカードを使うと、撮影した画像のファイル名（画像番号）は自動的に0001から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び0001から始まります。これはファイルナンバーリセット機能が入[ON]になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイルナンバーリセット機能を切[OFF]にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルナンバーリセット機能　入[ON]〉

	ファイル名（画像番号）
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルナンバーリセット機能　切[OFF]〉

	ファイル名（画像番号）
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	00014、00015……0025、0026

- 交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。
  - ・**交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：** 撮影中のファイル名を継続した番号になります。

カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0001、0002、0014, 0015……0025、0026

カードBに残っていた画像

ファイルナンバーリセット機能を設定しよう(つづき)

・**交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：**
最後のファイル名からの連番になります。

カード A	0001、0002……0012、0013

カード交換 ▼

カード B	0020、0021、0022、0023……0025、0026

カード B に残っていた画像（0020、0021）

1 オプション画面を出す [P81]

2 ファイル No. リセットアイコン[No.]を選ぶ

3 [SET]ボタンを押す

● ファイルナンバーリセット画面が出ます。
[ON]：
ファイルナンバーリセット機能を入にします。
[OFF]：
ファイルナンバーリセット機能を切にします。

4 [OFF]を選び、 [SET]ボタンを押す

● ファイルナンバーリセット機能を切に設定しました。

参 考

● ファイルナンバーリセット機能は、入 [ON] にするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、入 [ON] に戻すことをおすすめします。

カメラの設定をリセットしよう

各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 オプション画面を出す [P81]

2 設定リセットアイコン RESET を選び、[SET]ボタンを押す

- 設定リセット画面が出ます。
  [はい]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。
  [いいえ]：カメラの設定を変えず、オプション画面に戻ります。

RESET 設定リセット

設定リセット？

はい
いいえ

3 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にします。

参考

- 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
  日付時刻の設定
  言語選択の設定

カード・内蔵メモリーの空き容量をチェックしよう

カードまたは内蔵メモリーの空き容量は、撮影可能枚数や撮影可能時間で確認することができます。1枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数/撮影可能時間[P157]」を参照してください。

1 撮影モードを設定する [P29・30]

- 液晶モニターの右上に撮影可能枚数（静止画/連写撮影モード）、または撮影可能時間を表示します（動画クリップ撮影モード）。
- 撮影可能枚数や時間表示は、解像度や圧縮率などの設定に応じて変わります。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、撮影モードを変えたり、解像度を低く設定したり 、圧縮率を高く設定することなどで、撮影が可能になる場合があります。

静止画/連写撮影モード

*カードの容量によっては、「時：分：秒」

動画クリップ撮影モード

電池残量をチェックしよう

電池を使用している場合は、液晶モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の寿命は156ページを参照してください。

1 撮影または再生設定画面を出す[P40・61]

- 液晶モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には ▱ 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

電池残量表示

電池残量表示	電池の残量
▬	ほぼいっぱいの容量があります。 撮影/再生設定画面表示時のみ出ます。
◪	容量が少なくなりました。 撮影/再生設定画面表示時のみ出ます。
▱	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
▱（点滅）	撮影時、シャッターボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を交換してください。

電池残量をチェックしよう(つづき)

ヒント

- 同じ種類の電池でも、電池の寿命が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件(フラッシュの発光回数、液晶モニターの入/切)や周囲の温度(10℃以下の低温)によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。

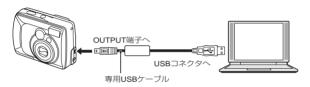
参 考

- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が早くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします(スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください)。

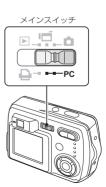
パソコンと接続しよう

接続のしかた

1 カメラの電源を切る

2 付属の専用 USB 接続ケーブルのカメラ用プラグをカメラに、パソコン用プラグをパソコンに接続する

- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールするときは、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

3 メインスイッチを[PC]に合わせ、 電源を入れる[P23]

- 接続を確認する画面が出ます。

4 [決定]を選んで[SET]ボタンを押す

- パソコン接続モードになります。
- 以降の操作方法については、SANYO Software Packの説明をお読みください[P112]。

参 考

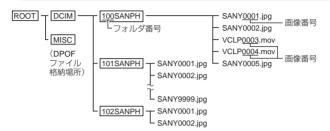
- カメラをパソコン接続モードにすると、カメラの液晶モニターに画像は出ません。

記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画像/連写画像データ	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY＊＊＊＊.jpg
動画クリップデータ	QuickTime Movie	VCLPで始まる。拡張子は「.mov」。 VCLP＊＊＊＊.mov※

＊記録した順に、続き番号が入る。

記録データのディレクトリ構造

※100SANPHフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影すると新たに101SANPHフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102SANPH、103SANPH･･･となります。

参 考

カードのデータはパソコンで書き換えないでください

- デジタルカメラで撮影した画像データは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

本機で撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 3以降を使用して、パソコンで再生することができます。
  付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)にはWindows/Macintosh版のQuickTime 6.5を添付しています。

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルナンバーリセット機能を[OFF]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します。

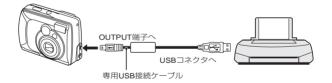
ダイレクト印刷をしよう

本機はPictBridgeに対応しています。本機はPictBridge対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラの液晶モニターで写真選択や印刷開始を指定することができます（PictBridge印刷）。

印刷の準備

1 印刷する画像データが入ったカードを本機に装着する

- カードを装着しない場合は、内蔵メモリーの画像データを印刷します。

2 付属の専用USB接続ケーブルで、プリンタと本機を接続する

注意!

接続中はプリンタの電源を切らないでください

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用 USB 接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。

3 プリンタの電源を入れる

4 メインスイッチを[🖶]に合わせ、 電源を入れる

- 接続を確認する画面が出ます。

5 [決定]を選んで[SET]ボタンを押す

- PictBridge印刷モードになり、印刷指定画面が出ます。

注意!

- PictBridge印刷中での操作は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

ダイレクト印刷をしよう(つづき)

1枚の画像を選んで印刷する（選択画像印刷）

静止画像を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P103]

2 選択画像印刷アイコン[]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。

3 方向ボタンの [◀] または [▶] を押して印刷する画像を選ぶ

4 印刷枚数を設定する

❶ [枚数] を選び、[SET] ボタンを押す
❷ 方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、印刷枚数を設定する
❸ [SET]ボタンを押す
・[印刷]を選んだ状態になります。

5 [SET]ボタンを押す

● 印刷を開始します。

参 考

印刷を中止するには
①印刷中に方向ボタンの[▼]を押す
・印刷中止の確認画面が出ます。
②[はい]を選び、[SET]ボタンを押す
・[戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、印刷を続行します。

ダイレクト印刷をしよう(つづき)

すべての画像を印刷する（全画像印刷）

カードまたは内蔵メモリー内の画像をすべて印刷します。

1 印刷の準備をする[P103]

2 全画像印刷アイコン ALL を選び、[SET]ボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

注意!

静止画像が1000枚以上ある場合は印刷できません

- 不要な画像を消去してから印刷してください。

一覧印刷をする（インデックス印刷）

カードまたは内蔵メモリー内のすべての静止画像を小さく一覧印刷します。

1 印刷の準備をする[P103]

2 インデックス印刷アイコン INDEX を選び、［SET］ボタンを押す

● インデックス印刷画面が出ます。

3 ［印刷］を選び、［SET］ボタンを押す

● 印刷を開始します。

ダイレクト印刷をしよう(つづき)

プリント設定をした画像を印刷する（予約画像印刷）

1 プリントの設定をし[P74]、印刷の準備をする[P103]

2 予約画像印刷アイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [SET]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

便利

- 操作2で、方向ボタンの[◀]または[▶]を押すと、印刷する画像とDPOFの設定を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷はできません。

印刷設定を変えて印刷する（プリンタ設定変更）

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P103]

[P103]

2 プリンタ設定変更アイコンを選び、 [SET]ボタンを押す

- プリンタ設定変更画面が出ます。

[紙種]：印刷用紙の紙質を設定します。
[用紙サイズ]：印刷用紙のサイズを設定します。
[レイアウト]：印刷用紙への画像の配置を設定します。
[印刷品質]：印刷画像の美しさを設定します。
[日付印刷]：撮影年月日を印刷します。
[戻る]：印刷指定画面に戻ります。

ダイレクト印刷をしよう(つづき)

3 プリンタの設定をする

❶方向ボタンの［▲］または［▼］を押して設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

・設定を選ぶ画面が出ます。

❷方向ボタンの[▲]または[▼]を押して設定を選び、[SET]ボタンを押す

・選んだ項目を設定し、プリンタ設定変更画面に戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

＜[プリンタ設定]を選んだ場合＞

・プリンタで設定している条件で印刷します。

4 [戻る]を選び、［SET]ボタンを押す

● 印刷指定画面に戻ります。

注意!

● フチなし印刷などの特殊な印刷機能は、接続するプリンタによっては本機の設定が無効になる場合があります。

参 考

プリンタ設定変更の設定項目は、接続するプリンタによって異なります。

＜プリンタ設定変更画面に出ない機能を使う場合＞

● プリンタ側でプリントの設定を行ってください。プリンタで設定した機能で印刷することができます。

＜プリンタにない機能をカメラで設定した場合＞

● カメラの印刷設定は自動的に[プリンタ設定]になり、プリンタ側の設定で印刷します。

＜プリンタにプリント設定機能がなく、プリンタ設定変更画面に出ない機能の場合＞

● その機能を使った印刷はできません。

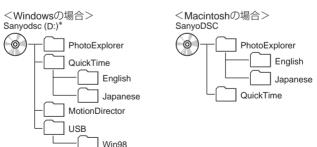
SANYO Software Packの紹介

SANYO Software Packには、以下のソフトウェアが入っています。

●ドライバソフトウェア
- ・USBドライバ
  Windows 98/Windows 98SEで、USBインタフェースを使用する場合に必要です。

●アプリケーションソフトウェア
各ソフトウェアの概要は、128ページをご覧ください。
- ・QuickTime 6.5：以降「QuickTime」と表記します。
- ・PhotoExplorer8.0 SE Basic（Windows）/ PhotoExplorer for Mac 2.0（Macintosh）：以降「フォトエクスプローラ」と表記します。
- ・MotionDirector SE 1.1（Windows）：以降「MotionDirector」と表記します。

ディレクトリ構造

SANYO Software Packのディレクトリ構造の概略は、以下のとおりです。

＊：ドライブ名(D:)は、お使いのパソコンによって異なります。

動作環境

Windows

USBストレージクラス

USBポートを標準搭載し、Windows 98、98SE以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows 3.1、95をWindows 98にアップグレードした環境での動作は、保証しません。

アプリケーションソフトウェア・PCカメラドライバ

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
QuickTime	Pentium以上	128MB以上	11MB以上	Windows 98*/Me/2000/XP
フォトエクスプローラ	Pentium II 350MHz以上	64MB（Windows XPは128MB）以上	18MB以上	Windows 98SE/Me/2000/XP
MotionDirector	Pentium III 1GHz以上	256MB以上（512MBを推奨）	100MB以上	Windows 98SE/Me/2000/XP

*：Windows 98SEを含む

Macintosh

USBストレージクラス
USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X 10.1以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

アプリケーションソフトウェア

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
QuickTime*	400MHz Power PC G3 以上	128MB以上	19MB以上	Mac OS X v10.2.5 ～ 10.3.x
フォトエクスプローラ	Power PC 以降	64MB以上	20MB以上	Mac OS 9.0以降 (CarbonLib 1.4以上) Mac OS X 10.1以降

*：Mac OS 8.6～Mac OS 9.Xは、QuickTime 6.0.3

注意!

Mac OS XのClassic環境でお使いの場合
- カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカード内のデータを直接読み書きすることはできません。データはいったんハードディスクに保存してください。

カメラの接続と取りはずし

カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードのデータを読む方法と、パソコンからカメラを取りはずす方法を説明します。

リムーバブルディスクとしての使用上の注意

- デジタルカメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。デジタルカメラがデータを認識できなくなる場合があります。
- デジタルカメラ内のデータを直接変更しないでください。変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、デジタルカメラでは使用できません。デジタルカメラで使用するカードは、デジタルカメラ本体でフォーマットを行ってください。
- カメラにカードを装着していない場合、カメラの内蔵メモリーをドライブとして認識します。

Windows XPの場合

カメラの接続

1 パソコンを起動する

2 カメラをパソコンに接続し、パソコン接続モードにする[P100・101]

- タスクトレイに [新しいハードウェアが見つかりました] というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。

〈カードを装着していない場合〉

- この時点で、内蔵メモリーのデータへのアクセスが可能になります。

〈カードを装着している場合〉

- カードをディスクとして認識（マウント）し、[リムーバブルディスク（E:）]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名（E:）は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

3 Windowsが実行する動作を選ぶ

- [リムーバブルディスク（E:）]ウィンドウから、目的の操作を選んでください。

カメラの接続と取りはずし(つづき)

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、内蔵メモリーまたはカードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックし、[USB大容量デバイスードライブ(E:)を安全に取り外します]を選択する

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Windows MeおよびWindows 2000の場合

カメラの接続

1 パソコンを起動する

2 カメラをパソコンに接続し、パソコン接続モードにする[P100・101]

- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク（E:）]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名（E:）は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク（E:）]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの接続と取りはずし(つづき)

Windows MeおよびWindows 2000の場合（つづき）

カメラの接続

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、内蔵メモリーまたはカードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを右クリックする

2 [ハードウェアを取り外すかまたは取り出す]を選ぶ

- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [USB大容量記憶装置デバイス]をダブルクリックし、［ハードウェア デバイスの停止］ダイアログボックスから［SANYO S5 USB Device］を選び、［OK]ボタンをクリックする

4 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

カメラの接続と取りはずし(つづき)

Windows 98/98SEの場合

カメラの接続

Windows 98 および Windows 98SE をお使いの場合は、USB ドライバ（SANYO Digital Camera Mass Storage Driver と SANYO Digital Camera Controller）をインストールしてください。インストールプログラムは、まずSANYO Digital Camera Mass Storage Driverを、続いてSANYO Digital Camera Controllerをインストールします。

1 CD-ROM（SANYO Software Pack）を CD-ROMドライブにセットする

2 カメラをパソコンに接続し、パソコン接続モードにする[P100・101]

- [新しいハードウェアの追加ウィザード] ダイアログボックスが開きます。
- [新しいハードウェアの追加ウィザード]が開かない場合は、[コントロールパネル]の[ハードウェアの追加]を起動し、操作 **4** に進んでください。

3 [次へ]ボタンをクリックする

4 USBドライバの検索方法と検索場所を指定する

①[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] にチェックマークを付け、[次へ] ボタンをクリックする

②[検索場所の指定]にチェックマークを付け、[参照]ボタンをクリックする

・[フォルダの参照] ダイアログボックスが開きます。

5 USBドライバがあるフォルダを指定する

● USBドライバは、CD-ROMの[USB] フォルダの [Win98] フォルダにあります。

①[Sanyodsc（D:）]をダブルクリックする

・ CD-ROM のドライブ名（D:）は、ご使用のパソコンによって異なります。

②[USB]をダブルクリックする

③[Win98]をダブルクリックする

Windows 98/98SEの場合（つづき）

6 [OK]ボタンをクリックする

- [フォルダの参照]ダイアログボックスが閉じて、[検索場所の指定]フィールドに[D:¥USB¥Win98]と表示します（1文字目（D）は、ご使用のパソコンによって異なります）。

7 [次へ]ボタンをクリックする

8 インストールの終了を示すダイアログボックスが開いたら、[完了]ボタンをクリックする

- SANYO Digital Camera Mass Storage Driver のインストールが完了しました。しばらくすると、再び[新しいハードウェアの追加ウィザード]ダイアログボックスが開きます。続いて、SANYO Digital Camera Controller をインストールしてください。

9 SANYO Digital Camera Controller をインストールする

- SANYO Digital Camera Controller は、SANYO Digital Camera Mass Storage Driver と同じ操作でインストールしてください。
- SANYO Digital Camera Mass Storage Driver のインストールが終わったら、USB ドライバーのインストールは完了です。

10 デジタルカメラをマウントできるか確認する

● USB ドライバが正常にインストールできている場合、[マイコンピュータ]に、デジタルカメラが[リムーバブルディスク]として現れます（リムーバブルディスクのドライブ名（E:）は、ご使用のパソコンによって異なります）。

参考

[リムーバブルディスク]が見つからないときは
USB デバイスドライバを正しくインストールできていません。以下の手順で、USB デバイスドライバをいったん削除した後、インストールしなおしてください。

1. [マイコンピュータ] を右クリックし、表示するメニューから [プロパティ]を選択する
   ● [システムのプロパティ] ダイアログボックスが開きます。
2. [デバイスマネージャ] タブをクリックする
3. [SANYO Digital Camera]をクリックし、[削除]ボタンをクリックする
   ● [SANYO Digital Camera]がない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じ、以下の手順4に進んでください。

4.CD-ROMをドライブにセットし、インストールしなおす

カメラの接続と取りはずし(つづき)

Windows 98/98SEの場合（つづき）

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、内蔵メモリーまたはカードのデータが破損する場合があります。

1 カメラのアクセスランプが点滅していないことを確認する

2 カメラを取りはずす

Mac OS 9.xxの場合

カメラの接続

1 パソコンを起動する

2 カメラをパソコンに接続し、パソコン接続モードにする[P100・101]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。
- [名称未設定]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの接続と取りはずし(つづき)

Mac OS 9.xxの場合（つづき）

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、内蔵メモリーまたはカードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す [名称未設定] アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[名称未設定]アイコンが消えます。

2 カメラのアクセスランプが点滅していないことを確認する

3 カメラを取りはずす

Mac OS Xの場合

- カメラの接続や取りはずしは、Mac OS9.xx の場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

アプリケーションソフトウェアのインストール

SANYO Software Packには、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、デジタルカメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●QuickTime*

動画クリップを再生します。音声も同時に再生できます。
本機で撮影した動画クリップを見る場合は、必ずインストールしてください。

●フォトエクスプローラ

デジタルカメラで記録したデータをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●MotionDirector

動画クリップ撮影時の手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した静止画から、1枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。

*：QuickTimeは、QuickTime Proにアップグレードできます。QuickTime Proは、QuickTimeムービーの編集などが可能です。QuickTime Proへのアップグレードは、アップルコンピューター・インクのホームページ（http://www.apple.com/jp/quicktime/）で行えます。

Windowsの場合

QuickTimeのインストール

1 CD-ROM（SANYO Software Pack）を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が開きます。
- インストール画面が開かない場合は、マイコンピュータにある[SanyoDSC（D:）]をダブルクリックし、[SanyoDSC（D:）]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。

※ ドライブ名（D:）は、お使いのコンピュータによって異なります。

2 インストール画面の[QuickTime 6.5]をクリックする

- QuickTimeのセットアップウィンドウが開き、インストールを開始します。

3 画面の表示に従って操作する

- インストールプログラムは、QuickTime が正しくインストールできるように、あらかじめ設定しています。
- パソコンに慣れていない方は、各ダイアログボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- [ユーザ登録] ダイアログボックスでは何も入力せずに、[次へ]ボタンをクリックしてください。
- インストール中にQuickTimeの設定画面が出ます。設定の方法については、以下のホームページにお問い合わせください。
http://www.apple.com/jp/quicktime/

4 インストールの終了を示すダイアログボックスが開いたら、［閉じる]ボタンをクリックする

- QuickTimeのインストールが完了しました。

Windowsの場合（つづき）

フォトエクスプローラ/MotionDirectorのインストール

1 CD-ROM（SANYO Software Pack）を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が開きます。
- インストール画面が開かない場合は、マイコンピュータにある[SanyoDSC（D:）]をダブルクリックし、[SanyoDSC（D:）]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。

※ ドライブ名（D:）は、お使いのコンピュータによって異なります。

2 インストール画面の[Ulead Photo Exploler 8.0 SE Basic]または[Motion Director SE 1.1]をクリックする

3 画面の表示に従って操作する

- フォトエクスプローラのインストール中にユーザー登録の画面が出ます。ユーザー登録の方法については、以下のホームページにお問い合わせください。
  http://www.ulead.co.jp
- 再起動を促すダイアログボックスが開いた場合は、パソコンを再起動してください。

アプリケーションソフトウェアのインストール(つづき)

Macintoshの場合

QuickTimeのインストール

1 CD-ROM（SANYO Software Pack）を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[SanyoDSC]をダブルクリックしてください。

2 [QuickTime]フォルダを開く

■Mac OS 8.6または9の場合

3 [OS 8.6/9]フォルダーの[Japanese]フォルダにある[QuickTime Installer]をダブルクリックする

- QuickTime のセットアップウィンドウが開き、インストールを開始します。

■Mac OS X 10.2.5～10.3.xの場合

3 [OS Xv10.2.5ー10.3.x]フォルダを開く

4 [QuickTime65.pkg]フォルダを開く

5 画面の表示に従って操作する

- インストールプログラムは、QuickTime が正しくインストールできるようにあらかじめ設定しています。
- [ユーザ登録]ダイアログボックスでは何も入力せずに、[続ける]ボタンをクリックしてください。
- インストール中にQuickTimeの設定画面が出ます。設定の方法については、以下のホームページにお問い合わせください。http://www.apple.com/jp/quicktime/
- 再起動を促すダイアログボックスが開いた場合は、パソコンを再起動してください。

フォトエクスプローラのインストール

1 CD-ROM（SANYO Software Pack）を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[SanyoDSC]をダブルクリックしてください。

2 インストールする

- [PhotoExplorer] フォルダの [Japanese] フォルダにある[Ulead Photo Explorer]フォルダをハードディスクにコピーします。
- コピーが終わったら、インストールは完了です。

参 考

[Carbon Lib]フォルダについて

- お使いのパソコンのCarbonLibファイル（機能拡張ファイル）のバージョンが1.4未満の場合は、[Carbon Lib]フォルダにあるCarbonLibファイルを機能拡張フォルダにインストールしてください。

フォトエクスプローラの使いかた

カメラのデータをパソコンにコピーするには、マイコンピュータからカメラのドライブを開いて目的のデータをパソコンにコピーする方法と、フォトエクスプローラを使ってコピーする方法があります。ここでは、フォトエクスプローラでカメラのデータをパソコンにコピーする方法を説明します。フォトエクスプローラについての詳しい説明は、フォトエクスプローラのヘルプを参照してください。

環境を設定する

データのコピー元（カメラ内のデータの場所）を設定します。

準備

1 カメラをパソコンに接続し、パソコン接続モードにする[P100・101]

- ダイヤログボックスが開いた場合は、[キャンセル]ボタンをクリックして、ダイヤログボックスを閉じてください。

2 カメラの接続を確認する

〈Windowsの場合〉
[マイコンピュータ]をダブルクリックする

- パソコンのディスプレイに[リムーバブルディスク（E:）]アイコンが出ます。
  ※ ドライブ名（E:）は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

〈Macintoshの場合〉

- デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。

フォトエクスプローラを起動する

1 準備をする[P133]

2 起動する

〈Windowsの場合〉
デスクトップ上の[Ulead Photo Explorer8.0 SE Basic]アイコンをダブルクリックする

- フォトエクスプローラが起動し、フォトエクスプローラのウィンドウが開きます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

〈Macintoshの場合〉
フォトエクスプローラをインストールしたフォルダを開き、フォトエクスプローラのプログラムアイコンをダブルクリックする

- フォトエクスプローラが起動し、
  フォトエクスプローラのウィンドウが開きます。

①階層表示ウィンドウ
　フォルダツリー構造をリストで表示することができます。

②プレビューウィンドウ
　選択した画像データを表示します。動画クリップや音声の再生もできます。

③サムネイルウィンドウ
　さまざまなファイル形式のデータのサムネイルを表示します。フォルダ内の指定した複数のファイルをファイル名を一括して変更することができます。

カメラドライブを設定する

パソコンに接続したカメラのドライブを指定します。
なお、この操作は設定を変更する場合を除いて、一度行うと以降行う必要はありません。

1 フォトエクスプローラを起動する[P134]

2 ツールバーのカメラアイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが開きます。

〈Windowsの場合〉

〈Macintoshの場合〉

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

3 カメラドライブを指定する

〈Windowsの場合〉

①「カメラドライブとカードリーダー」の右にあるドライブ名（A：¥）をクリックする
・「イメージソースを選択」ダイアログボックスが開きます。
②「カメラのメモリーカードまたはディスクから直接読み取る」オプションボタンをオンにし、「場所」リストボックスから選ぶ
③[OK]ボタンをクリックする
・「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが閉じます。
・「カメラドライブとカードリーダー」の右側のドライブ名が、操作②で指定したパスに変わります。

〈Macintoshの場合〉

①「カメラフラッシュドライブ」欄のアイコン▣をクリックする
・「取り外し可能なドライブを選択する」ダイアログボックスが開きます。
②パソコンに接続したカメラのドライブ（名称未設定）をクリックし、[選択]ボタンをクリックする
・「カメラフラッシュドライブ」欄のドライブ名が「名称未設定」になります。
③「サブフォルダを作成」チェックボックスをオンにする

画像データをパソコンにコピーする場合

● [開始]をクリックしてください。

設定だけを行う場合

● [キャンセル] ボタンをクリックすると、「カメラウィザード」ウィンドウが閉じます。

データをコピーする

カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカード内の画像データをパソコンにコピーします。

1 カメラをパソコンに接続し、パソコン接続モードにする[P100・101]

● フォトエクスプローラが起動します。
● 「Ulead Photo Explorer を開いてフォトを表示」オプションボタンをONにし、[OK]ボタンをクリックしてください。

〈フォトエクスプローラが起動しない場合〉

①フォトエクスプローラを起動する[P134]

2 ツールバーのカメラアイコンをクリックする

● 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが開きます。

3 [開始]ボタンをクリックする

● コピーを開始します。
● 以下のフォルダ内に日付と時間名のフォルダを自動的に生成し、その中にデータをコピーします。
Windowsの場合：C:¥My Documents¥SANYO_PEX
Macintoshの場合：Macintosh HD:Ulead Photo Explorer
● コピーが終わったら、コピーの完了を示すダイアログボックスが出ます。

4 コピーが終わったら、 [OK]ボタンをクリックする

● コピーしたデータをサムネイルウィンドウに表示します。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

撮影年月日を印刷するには

サムネイル印刷で撮影日の印刷を指定してください。

1 印刷する画像をクリックして選択する

2 印刷アイコンをクリックし、サブメニューの[サムネイル]をクリックする

- サムネイル印刷ダイアログが出ます。

3 「テキストをサムネイルと一緒に印刷」欄の[撮影日]チェックボックスをONにする

- [プレビュー]ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷状態を確認することができます。
- プレビュー画面を閉じるには、[閉じる]ボタンをクリックしてください。

4 [OK]ボタンをクリックする

- 印刷を開始します。
- プレビュー画面で[印刷]ボタンをクリックしても、印刷を開始することができます。

注意!

「お使いのプリンタはこの機能をサポートしておりません。」
「プリントイメージマッチングをサポートしておりません…」表示が出る?

- [はい]ボタンをクリックしてしてください。印刷を開始します。

フォトエクスプローラでできること

デジタルデータの取り込み・一括管理・検索
フォトエクスプローラは、デジカメ画像からDVカメラのビデオファイル、MP3・WAVなどの音声ファイルまでマルチファイルを視覚的に統合管理できるソフトです。

■ 基本画面

段階層表示ウィンドウ
フォルダツリー構造をリストで表示できます。

プレビューウィンドウ
選択したファイルを表示。動画・音声を再生できます。

スライドショー
画像を色々並べながらスライド形式で画像を見ることができます。

サムネイルウィンドウ
様々なファイル形式データを一度にサムネイルに表示。フォルダ内の指定した複数のファイル名を一括して変更できます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

■ 画像管理や編集ができます

再生機能

画像をフルサイズまたは全画面で表示することができます。キーボード入力やツールバーボタンのクリック、メニュー選択で、画像の閲覧やスライドショー再生などの操作ができます。

画像管理・編集機能

画像データのコピーや削除、ファイル名の変更ができます。また、回転やフリップなど、編集したデータを保存することもできます。

画像調整

切り抜きやコントラスト、明るさやカラーバランスなどの調整が簡単にできます。作成したイメージを壁紙やスクリーンセーバーに利用できます。

■ 豊富なスライドショー機能

スライドショー

静止画と動画クリップが混在したスライドショー再生ができます。画面が切り替わる時のエフェクトパターン(切替効果)も、数多く用意しています。

クリック！
Video CD 作成へ

■ 動画クリップデータのデータ形式を変換できます

デジタルカメラで撮影した動画クリップ(Quick Time形式)をAVI形式やMPEG形式などに変換することができます。

■フォトエクスプローラのお問い合わせは？

フォトエクスプローラに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせの先の電話番号およびホームページのURLは、以下のとおりです。
http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm　または
http://www.ulead.co.jp/tech/info/faq/etc012.htm
TEL:03-5491-5662
受付時間:月曜日～金曜日(土、日、祝、年末年始を除く) 10:00～12:00、13:00～17:00

<シリアル番号の見かた>

- フォトエクスプローラの[ヘルプ]メニューから

[Ulead Photo Explorer バージョン8.0]を選んでください。
製品情報を記載したダイアログボックスが出ますので、シリアル番号を確認してください。

MotionDirectorについて

MotionDirectorは、カメラで撮影した動画クリップの手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した動画クリップから 1 枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。
以下に MotionDirector の概要を紹介しますので、詳しくはMotionDirectorのオンラインヘルプを参照してください。

取り込み

MotionDirectorが読み込めるファイルの形式は
　・MOV
　・MP4
のいずれかです。
また、それぞれの圧縮コーデックは、以下の通りです。

形式	動画コーデック	音声コーデック
MOV	Motion JPEG	WAVE
MP4	ISO MPEG-4	AAC

フレームサイズは、VGA（640x480画素）以下です。

書き出し形式と再生

MotionDirectorは、以下の形式でファイルを書き出すことができます。

手ぶれ補正の場合：MPEG-4、MOV
パノラマ合成の場合：JPEG、BMP、TIFF、QuickTimeVR

QuickTime VR形式で保存された画像は、Apple社のQuickTimePlayerを使用することでVR空間画像を見ることができます。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　　問	原　　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を 10 ℃〜 40 ℃に保ってください。
	表示が出る？	電池残量が少なくなった	別売の AC アダプター（DSA-34A）を使用するか、新しい電池に交換してください。
	フラッシュ充電時、液晶モニターの電源が急に切れる？	電池残量が少なくなって、一時的に液晶モニターを消灯する機能が働いた	フラッシュの充電が終われば点灯します。 故障ではありません。
撮影	シャッターボタンを押しても撮影ができない？	アクセスランプが点滅している（データ記録中）	アクセスランプが点灯になるまで待ってから撮影してください。
	アクセスランプが点滅している？	記録データをカードまたは内蔵メモリーに書き込んでいる	故障ではありません。 アクセスランプが点灯に変わるのを待ってください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、本機がフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	マクロ撮影時、ファインダーで構図を確認して撮影すると、被写体がずれて写る？	レンズとファインダーの位置関係から、被写体との距離が近づくに従い、下にずれて写る	液晶モニターで構図を確認してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	—	露出補正以外の設定は、電源を切っても記憶しています。セルフタイマーの設定は、撮影のたびに設定してください。ただし撮影をしなければ、電源を切っても記憶しています。
	時計警告アイコン[⌚?]が出る？	本機の日付・時刻を設定していない	日付・時刻を設定してください。
	画像の使用目的に合った解像度とは？	—	[10M][5M]：サイズがA4以上の印刷やトリミング（部分拡大）して印刷する場合に適しています。 [2M]：通常の写真（サービス版）サイズで印刷する場合に適しています。 [WEB]：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。

<table>
<tr><th></th><th>質　　問</th><th>原　　因</th><th>このようにしてください</th></tr>
<tr><td rowspan="3">撮影</td><td>デジタルズームと光学ズームの使い分けは？</td><td>—</td><td>光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはCCDに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。</td></tr>
<tr><td>遠景撮影時のピント外れをなくすには？</td><td>—</td><td>フォーカスレンジを遠景に設定して撮影してください。</td></tr>
<tr><td>スローシンクロ撮影のしかたは？</td><td>—</td><td>①シーンセレクト機能を夜景に設定する
②フラッシュ動作モードを発光禁止以外に設定する
・強制発光モードに設定した場合は、必ずスローシンクロ撮影になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">液晶モニター</td><td>寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？</td><td rowspan="2">液晶の性質による現象</td><td rowspan="2">故障ではありません。
輝点などは液晶モニターにのみ現れるもので、記録することはありません。</td></tr>
<tr><td>赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？</td></tr>
</table>

よくある質問(つづき)

	質　　問	原　　因	このようにしてください
再生画像	画像が明るすぎる?	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない?	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、シャッターボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらにシャッターボタンを静かに押してください。
	画像の一部が欠けている?	近くで撮影した	被写体が近い場合は、液晶モニターで構図を確認して撮影してください。
	画像が出ない(?表示が出る)?	本機以外のデジタルカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	本機で撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る?	明るい被写体を動画クリップ撮影したときは、液晶モニターや撮影画像に縦の縞模様（スミア）が発生することがある	故障ではありません。
	拡大表示した画像が粗い?	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い?	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。

	質　　問	原　　因	このようにしてください
再生画像	パソコンで加工した画像をデジタルカメラで再生したい?	—	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	動画クリップの音声が出ない?	本機には、録音機能がありません。	故障ではありません。
印刷	PictBridge印刷中にメッセージが出た?	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	「カードロックされています」表示が出る?	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	選べないメニュー / アイコンがある	他の設定が優先になっている	他の設定を変更してください。
	カメラの操作ができない?	カメラの回路が一時的に異常になった	AC アダプターおよび電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	[システムエラー] 表示が出た?	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください。 ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ② 電池を取り出し、再度電池を入れる ③ 他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても［システムエラー］表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になったとき

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	新しい電池と交換する	21
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	
		電池カバーを完全に閉じていない	電池カバーを完全に閉じる	
	なにもしていないのに電源が切れた	パワーセーブ機能が働いた	再度、電源を入れる	24
撮影	シャッターボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	電源を入れる	23
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	34
		撮影モードを静止画撮影モード以外に設定している	静止画撮影モードに設定する	29
		電池が消耗している	新しい電池と交換する	21

困った状態になったとき(つづき)

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	アクセスランプが点滅し、セルフタイマー撮影ができない	電池が消耗している	新しい電池と交換する	21
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありません ズームスイッチをはなし、再度押す	36
	手ぶれ警告アイコン が出る	シャッタースピードが遅くなった	カメラを三脚などで固定する	31
液晶モニター	撮影時、液晶モニターに画像が出ない	液晶モニターを使わない設定になっている	液晶モニターを使う設定にする	83
	再生画像が出ない	メインスイッチが [▶] に合っていない	メインスイッチを [▶] に合わせる	56
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	25
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	155
		逆光で撮影した	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	34

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	34
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	55
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	フォーカスを正しく設定する	52
		フォーカスの設定が正しくない		
		シャッターボタンを押すときにカメラが動いた	カメラを正しく構え、シャッターボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらにシャッターボタンを静かに押す	25・30
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	14
	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	34
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	54
	画像の一部が欠けている	レンズに指やストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	25
	［画像がありません］表示が出る	画像データがない	撮影をしてから再生する	—

困った状態になったとき(つづき)

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
画像編集	画像回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	67
	[リサイズできません] 表示が出る	解像度が 320 × 240 ピクセル（320）である	リサイズできない解像度 640 × 480 ピクセル（WEB）以上の画像を選ぶ	63
その他	[プロテクトされています] 表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	67
	[カード残量がありません]または[内蔵メモリー残量がありません]表示が出る	カードまたは内蔵メモリーの容量いっぱいまで撮影した	カードを使っている場合は、カードを交換する	22
			不要な画像を消去してから撮影する	69
			必要な画像は保存してから消去する	69・133

仕様

デジタルカメラの仕様

項目	仕様
形式	CCDデジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	デジタル記録
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像**：JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠） （注）DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF 規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ**：QuickTime Movie（Photo-JPEG） （映像のみ：音声記録はなし）
記録媒体	内蔵メモリー：16MB 外部メモリー：SDメモリーカード、 マルチメディアカード
カメラ部有効画素数	約510万画素
撮像素子	1/2.5型CCD、総画素数：約536万画素、インターレーススキャン、原色フィルター
記録画素数	3,680×2,760ピクセル：10M（静止画撮影のみ） 2,592×1,944ピクセル：5M（静止画・連写撮影のみ） 1,600×1,200ピクセル：2M（静止画・連写撮影のみ） 640×　480ピクセル：WEB（静止画・連写撮影のみ） 320×　240ピクセル：320（動画クリップ撮影のみ） 160×　120ピクセル：160（動画クリップ撮影のみ）
動画クリップフレームレート	15fps
画像圧縮	静止画・連写撮影のみ 低圧縮　：FINE 標準圧縮：NORM
ホワイトバランス	フルオートTTL、マニュアル設定可能
レンズ	光学2.8倍ズームレンズ f=6.2mm～17.4mm （35mmフィルムカメラ換算 f=37mm～105mm） オートフォーカス、6群7枚

仕様(つづき)

フォーカス方式		TTL5点測距AF
絞り		開放 F=3.0（Wide）～5.0（Tele） 最小 F=4.1（Wide）～7.1（Tele）
露出制御方式		プログラムAE 撮影設定画面による露出補正機能あり（0 ± 1.8EV 0.3EVステップ）
測光方式		多分割測光
撮影範囲		50cm(Wide)・50cm(Tele)～∞(通常撮影)、2cm(Wide)・50cm(Tele)～50cm(スーパーマクロ撮影)
デジタルズーム		撮影時：1～4倍 再生時：1～約58倍（解像度により異なる）
シャッタースピード		静止画撮影モード：1/2～1/2,000秒 (最長約2秒：シーンセレクト機能夜景風景時) (フラッシュ発光時：1/30～1/2,000秒) 連写撮影モード：1/2～1/2,000秒 動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒
感度		静止画撮影モード、連写撮影モード： オート（ISO50～200相当） 動画クリップ撮影モード： オート（ISO100～400相当)
ファインダー		光学実像式ズームファインダー
液晶モニター		1.8型TFTカラー液晶 約8.5万画素 (視野率約100%)
フラッシュ撮影範囲		0.15m～2.8m（Wide） 0.5m～1.7m（Tele）
フラッシュモード		自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減
セルフタイマー		作動時間約2秒/10秒
日付・時刻		撮影時画像データに同時記録
使用環境	温度	0～40℃（動作時)、－20～60℃（保管時）
	湿度	30～90%（動作時、非結露） 10～90%（保管時、非結露）

電源	電池	単3形アルカリ乾電池×2本 下記の電池も使用できます。 ●単3形ニカド電池（当社製N-3UV）×2本 ●単3形ニッケル水素電池（当社製HR-3UF）×2本 ●リチウム電池（CR-V3）×1個 ※単3形マンガン乾電池は使用できません
	ACアダプター（別売）	DSA-34A
大きさ（突起部含まず、奥行きは最薄部）		91.3（幅）×61.5（高さ）×30.8（奥行き）mm
質量		約140g（電池・カード別）

デジタルカメラ各端子の仕様

OUTPUT端子	専用ジャック	
	USB	USB 2.0 （フルスピードモード対応：USB1.1相当）
DC IN （外部電源入力）端子	DC3.4V （別売ACアダプター DSA-34A専用）	

電池寿命

	アルカリ乾電池 （付属）	リチウム電池 （別売：CR-V3）	ニッケル水素電池 （別売：HR-3UF）
撮影可能枚数*1	110枚	600枚	400枚
再生可能時間*2	300分	680分	470分

*1：CIPA規格によります（松下電器産業㈱製64MBSDメモリーカード使用）。

*2：液晶モニターを点灯し、連続して再生した場合です。

● 電池の状態や測定条件により、電池寿命が変わります。特に10℃以下の低温で使用した時は、電池の特性により電池寿命が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間

内蔵メモリー（16MB)、別売のSDメモリーカード（128MB)、市販のSDメモリーカード（1GB）を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影モード設定	解像度設定	圧縮率設定	内蔵メモリー使用時	外部メモリー使用時	
				128MB(別売品)使用時	1GB(市販品)使用時*
静止画撮影モード / 連写撮影モード	10M	FINE	4枚	37枚	297枚
		NORM	7枚	56枚	445枚
	5M	FINE	9枚	75枚	595枚
		NORM	14枚	111枚	885枚
	2M	FINE	24枚	191枚	1510枚
		NORM	36枚	290枚	2290枚
	WEB	FINE	124枚	979枚	7740枚
		NORM	166枚	1300枚	10320枚
動画クリップ撮影モード(音声なし)	320	—	50秒	6分37秒	52分27秒
	160	—	2分56秒	23分11秒	3時間3分

・同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
・連続撮影時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

*Sandisk製SDメモリーカード使用時

その他

電波障害自主規制について

この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また、内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROMの使用許諾について

・本CD-ROMを無断で複製することができません。
・本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
・本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

本文中では、Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、Microsoft® Windows® XP operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

索　引 (50 音順)

名称・用語

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

操作

あ行

か行

さ行

た行

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は<総合相談窓口>
三洋電機 （株） お客さまセンター

受付時間： 9：00～18：30

◆北海道地区
札 幌 ☎(011)290－1522

◆東北地区
仙 台 ☎(022)714－6137

◆関東地区
東 京 ☎(03)3815－1111

◆中部・北陸地区
名古屋 ☎(052)533－5245

◆近畿・四国地区
大 阪 ☎(06)6994－9570

◆中国地区
広 島 ☎(082)297－6067

◆九州・沖縄地区
福 岡 ☎(092)263－7629

※郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2－5－5
FAX（06)6994－9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は、変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口(つづき)

修理サービスについてのご相談は<修理相談窓口>

三洋コンシューママーケティング （株）

受付時間： 月曜日～金曜日　[9：00～18：30]
土曜・日曜・祝日　[9：00～17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　**東京** ☎(03)5302－3401

西日本コールセンター　**大阪** ☎(06)4250－8400

関東 ・ 首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区
札　幌 ☎(011)833－7888

◆東北地区
仙　台 ☎(022)382－2213

◆長野地区
長　野 ☎(0263)26－1772

◆新潟地区
新　潟 ☎(025)285－2451

◆福島地区
福　島 ☎(024)945－6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区
金　沢 ☎(076)237－6650

◆東海地区
名古屋 ☎(052)979－3456

◆中国地区
広　島 ☎(082)293－9333

◆四国地区
高　松 ☎(087)844－8321

◆九州地区
福　岡 ☎(092)922－9311

◆沖縄地区　沖　縄☎(098)944－5018
受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）
[9：00～12：00、13：00～17：30]

※「持込修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）9：00～17：30

北海道地区
北海道
札　幌　☎（011）831ー9201 〒003-0013　札幌市白石区中央三条4ー1ー36
函　館　☎（0138）48ー8301 〒041-0824　函館市西桔梗町589ー295
苫小牧　☎（0144）33ー3421 〒053-0042　苫小牧市三光町2ー2ー5
旭　川　☎（0166）22ー2421 〒070-0073　旭川市曙北3条7ー3ー3
北　見　☎（0157）23ー4871 〒090-0037　北見市山下町4ー7ー14
釧　路　☎（0154）22ー1576 〒085-0021　釧路市浪花町7ー7

東北地区
宮城県
仙　台　☎（022）384ー0444 〒981-1225　名取市飯野坂3ー4ー8
青森県
青　森　☎（017）729ー3401 〒030-0141　青森市大字上野字山辺29ー5
八　戸　☎（0178）28ー9225 〒039-1103　八戸市長苗代字観音堂50ー5
岩手県
盛　岡　☎（019）635ー0136 〒020-0863　盛岡市南仙北1ー13ー6
水　沢　☎（0197）23ー6621 〒023-0003　水沢市佐倉河字羽黒田45
山形県
山　形　☎（023）641ー1769 〒990-2432　山形市荒楯町1ー21ー30
酒　田　☎（0234）23ー3817 〒998-0842　酒田市亀ヶ崎6ー7ー16

東北地区
秋田県
秋　田　☎（018）862ー6551 〒010-0925　秋田市旭南3ー2ー67
福島県
郡　山　☎（024）945ー6793 〒963-0111　郡山市安積町荒井字戸蘭塔1ー7

関東・甲信越地区
埼玉県
さいたま☎（048）664ー2319 〒331-0812　さいたま市北区宮原町1ー30
坂　戸　☎（049）284ー8900 〒350-0214　坂戸市千代田5ー3ー17
栃木県
栃　木　☎（028）653ー2811 〒321-0106　宇都宮市上横田町1302ー12
茨城県
茨　城　☎（0298）64ー4751 〒300-3261　つくば市花畑2ー15ー3
水　戸　☎（029）251ー4125 〒311-4152　水戸市河和田3ー2386ー1
群馬県
群　馬　☎（027）362ー1151 〒370-0001　高崎市中尾町池の内441
西関東　☎（0276）22ー7702 〒373-0015　太田市東新町72ー2
新潟県
新　潟　☎（025）285ー2431 〒950-0971　新潟市近江244
長　岡　☎（0258）24ー0705 〒940-0029　長岡市東蔵王2ー3ー46
上　越　☎（0255）43ー3535 〒942-0074　上越市石橋2ー2ー9

お客さまご相談窓口(つづき)

関東地区

東京都

城　東　☎（03）3607－3191
〒125-0051　葛飾区新宿4－10－15

城　北　☎（03）3958－1261
〒173-0021　板橋区弥生町72－5

城　西　☎（03）3376－3361
〒151-0073　渋谷区笹塚3－1－13

武蔵野　☎（042）364－7721
〒183-0045　府中市美好町2－3－1

神奈川県

戸　塚　☎（045）827－2831
〒224-0806　横浜市戸塚区上品濃9－14

相模原　☎（042）742－2272
〒228-0805　相模原市豊町17－11

平　塚　☎（0463）55－3926
〒254-0014　平塚市四之宮3－20－63

千葉県

千　葉　☎（043）241－7311
〒260-0025　千葉市中央区問屋町5－20

鎌ケ谷　☎（047）441－0111
〒273-0105　鎌ケ谷市鎌ケ谷7－6－59

山梨県

山　梨　☎（055）226－2561
〒400-0035　甲府市飯田4－8－23

中部地区

静岡県

静　岡　☎（054）261－4151
〒420-0813　静岡市長沼885

沼　津　☎（055）963－1000
〒410-0861　沼津市真砂町3－1

浜　松　☎（053）461－8685
〒435-0016　浜松市和田町795－2

長野県

松　本　☎（0263）26－1107
〒390-0835　松本市高宮東1－35

長　野　☎（026）299－9501
〒388-8006　長野市篠ノ井御幣川
字東松島1000－2

石川県

金　沢　☎（076）237－7811
〒920-0062　金沢市割出町627

富山県

富　山　☎（076）422－7020
〒939-8211　富山市二口町1－13－8

福井県

福　井　☎（0776）22－6082
〒918-8231　福井市問屋町1－17

三重県

三　重　☎（059）228－8126
〒514-0838　津市岩田町10－3

中部地区

愛知県

名古屋　☎（052）979－3455
〒461-0011　名古屋市東区白壁5－41

岡　崎　☎（0564）23－3418
〒444-0065　岡崎市柿田町1－2

岐阜県

岐　阜　☎（058）246－3417
〒501-6006　岐阜県羽島郡岐南町伏屋1－35

近畿地区

大阪府

大　阪　☎（06）6992－6235
〒570-0086　守口市竹町4－13

大阪南　☎（06）6761－4600
〒543-0001　大阪市天王寺区上本町
5－1－14　三洋ビル2F

大阪東　☎（0729）65－1811
〒578-0903　東大阪市今米2－3－29

近 畿 地 区

阪　和 ☎（072）221－8571
〒590-0959　堺市大町西3－1－16

京都府

京　都 ☎（075）672－0877
〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町41

三　丹 ☎（0773）27－3458
〒620-0856　福知山市土師宮町1－66

奈良県

奈　良 ☎（0744）22－7888
〒634-0837　橿原市曲川町7－1－31

滋賀県

滋　賀 ☎（077）545－4221
〒520-2134　大津市瀬田1－1－5

和歌山県

和歌山 ☎（073）436－3110
〒641-0006　和歌山市中島369

田　辺 ☎（0739）22－7520
〒646-0051　田辺市稲成町南江原318

兵庫県

神　戸 ☎（078）651－3951
〒652-0897　神戸市兵庫区駅南通2－1－11

阪　神 ☎（06）6432－3401
〒661-0026　尼崎市水堂町4－17－6

姫　路 ☎（0792）96－2141
〒670-0981　姫路市西庄字八町108

淡　路 ☎（0799）22－2702
〒656-0101　洲本市納字横竹308－1

中 国 地 区

広島県

広　島 ☎（082）293－6511
〒733-0012　広島市西区中広町3－17－5

福　山 ☎（084）925－3455
〒720-0077　福山市南本庄3－1－48

岡山県

岡　山 ☎（086）245－1634
〒700-0973　岡山市下中野703－101

中 国 地 区

津　山 ☎（0868）22－6133
〒708-0002　津山市上河原239－10

鳥取県

鳥　取 ☎（0857）24－2930
〒680-0843　鳥取市南吉方3－107

島根県

浜　田 ☎（0855）22－7883
〒697-0023　浜田市長沢町3049

松　江 ☎（0852）23－1183
〒690-0017　松江市西津田4－1－14

山口県

山　口 ☎（083）973－3391
〒754-0024　山口県吉敷郡小郡町若草町2－6

四 国 地 区

愛媛県

愛　媛 ☎（089）971－3342
〒791-8036　松山市高岡町148－1

宇和島 ☎（0895）27－1818
〒798-0077　宇和島市保田甲934－3

香川県

香　川 ☎（087）843－1840
〒761-0104　高松市高松町2175－10

高知県

高　知 ☎（088）860－0229
〒781-5106　高知市介良乙1044

徳島県

徳　島 ☎（088）699－4131
〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150－2

九 州 地 区

福岡県

福　岡 ☎（092）928－3414
〒818-8534　筑紫野市紫6－1－1

北九州 ☎（093）521－5286
〒802-0023　北九州市小倉北区下富野2－10－28

九州地区	沖縄地区
中九州 ☎ (0942) 21－3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890－2 **長崎県** 長 崎 ☎ (095) 824－5628 〒850-0012 長崎市本河内3－21－43 佐世保 ☎ (0956) 31－7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17－1 **熊本県** 熊 本 ☎ (096) 357－1122 〒861-4106 熊本市南高江町3－2－88 八 代 ☎ (0965) 35－3483 〒866-0871 八代市田中東町12－7 **大分県** 大 分 ☎ (097) 543－3454 〒870-0822 大分市大道町3－4－32 **宮崎県** 宮 崎 ☎ (0985) 29－3441 〒880-0036 宮崎市花ケ島町観音免883 **鹿児島県** 鹿児島 ☎ (099) 251－4615 〒890-0068 鹿児島市東郡元町11－10	**沖縄県** 沖 縄 ☎ (098) 944－5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から１年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P162]」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DSC-S5)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間　9:00〜18:30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

地区	電話
◆北海道地区	☎札　幌(011)290-1522
◆東北地区	☎仙　台(022)714-6137
◆関東地区	☎東　京(03)3815-1111
◆中部・北陸地区	☎名古屋(052)533-5245
◆近畿・四国地区	☎大　阪(06)6994-9570
◆中国地区	☎広　島(082)297-6067
◆九州・沖縄地区	☎福　岡(092)263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

◆三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677
大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX(06)6994-9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋コンシューママーケティング(株)の「修理相談窓口[P163]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）
9:00〜11:50、13:15〜17:00

DIソリューションズカンパニー　お客さま相談係
電話　大東（072）870-4184（直通）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどのときに便利です。

品　　番	DSC-S5
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	電話(　　　)　—
もよりのお客さま ご相談窓口	電話(　　　)　—

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	□SDメモリーカード	□マルチメディアカード
	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 98SE □Windows 2000 □Windows Me □Windows XP	□Mac OS 9.x □Mac OS X以降

撮影のヒント

難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

本機はオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

本機のオートフォーカスは、シャッターボタンを半分押した時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、液晶モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かにシャッターボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。

ターゲットマーク

●ピントが合わない原因

1：シャッターボタンを一気に押した

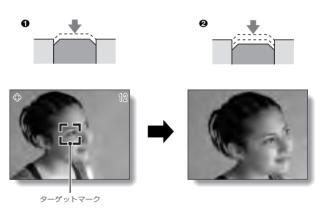
2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- スーパーマクロモード[P52]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

●ピントをしっかり合わせるには
①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えてシャッターボタンを半分押してください。
③液晶モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいてシャッターボタンを静かに押し込んでください。

このように、落ち着いてシャッターボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。

■動きのある被写体の撮影は？

運動中のお子さまやペットなどの写真は、オートフォーカスでピントを合わせても被写体までの距離が刻々と変わるため、ピンボケになる可能性があります。特に、カメラに対して前後に動く被写体には、なかなかピントが合いません。動きのある被写体に、うまくピントを合わせる方法はないのでしょうか？

●ピンボケの原因

オートフォーカスは、シャッターボタンを半分押した時点の距離にピントを合わせるため、被写体が動くとピントがはずれてしまいます。また、オートフォーカスが動作するのを待っていては、シャッターチャンスを逃してしまう場合もあります。逆に、シャッターチャンスにシャッターボタンを一気に押すとピントが合わず、やはりピンボケの原因になります。

●ピンボケを防ぐには（マニュアルフォーカスモードを活用する [P53]）

本機のフォーカス機能には、マニュアルフォーカスモードがあります。シャッターボタンを押した時に被写体までの距離を測ってピントを合わせるオートフォーカスに対し、マニュアルフォーカスモードでは、あらかじめピントを被写体までの距離に設定しておいて撮影します。

●**撮影のしかた**

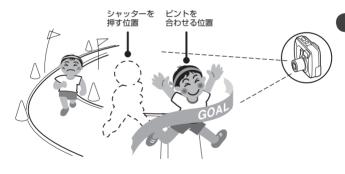
①フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定し、焦点距離を被写体までの距離に設定します。

②被写体が設定した焦点距離にきたら、静かにシャッターボタンを押し込みます。

<マニュアルフォーカスの利点>

- ピント合わせに要する時間を省くことで、素早く撮影ができます。
- あらかじめ焦点距離の設定を設定しているので、ピントをより正確に合わせることができます。

<マニュアルフォーカスの有効な使いかた>

- 動きが早い被写体を撮影する場合は、被写体が撮影距離に達する少し前にシャッターボタンを押すと、被写体が撮影距離に達した時にシャッターを切ることができます。
- 被写体の手前にある物にピントが合ってしまうようなトラブルを防ぐことができます。

撮影のヒント(つづき)

シーンセレクト機能を使った撮影

■人物を撮影しよう(ポートレートモード)

ポイント：

- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する

解説：

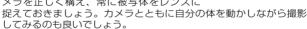
- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう(スポーツモード)

ポイント：

- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide(広角)側に
- チャンスには、ためらわずにシャッターボタンを押す

解説：

- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。

- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズにシャッターボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう（夜景モード ）

ポイント：

- 手ぶれに十分気を使う
- 露出を補正する

解説：

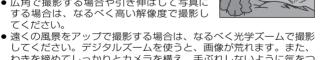
- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。三脚を使うか、三脚がない場合は壁や柱を利用して、カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約1秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう（風景モード ）

ポイント：

- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する

解説：

- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、わきを締めてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。三脚などでカメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントとなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。

http://www.sanyo-dsc.com/

三洋電機株式会社

コンシューマ企業グループ
DIソリューションズカンパニー

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

1AG6P1P2540--
SX71B/J（0105HS-SY）

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。